２０２１－２０２２（令和３－４）年度

北海道立函館美術館年報

２０２１－２０２２（令和３－４）年度

HAKODATE MUSEUM OF ART, HOKKAIDO

目　次

展覧会事業
ミュージアム・コレクション
1.近代彫刻…… 4
2.鷗亭記念室…… 5
3.常設展示室…… 9
特別展
令和3-4年度特別展一覧…… 13
北海道立近代美術館　友田コレクション×荒井記念美術館　ピカソ・コレクション
西洋版画の魅力…… 14
光と遊ぶ超体感型ミュージアム
魔法の美術館…… 18
北の抒情と幻想
国松　登展…… 20
アートのみかた、カギはここにあり。
美術をまるごと楽しもう！…… 23
奈良原一高―王国　Domains…… 26
笠間日動美術館コレクション
魅惑の西洋近代絵画
モネ、ルノワールからピカソ、マティスまで…… 28
詩文書の魅力
金子鷗亭と中野北溟…… 30
来し方行く末
道南美術のクロニクル…… 33
教育普及事業
1.美術講演会…… 38
2.特別展セミナー…… 38
3.ギャラリー・ツアー／見どころ解説…… 39
4.美術映画会…… 40
5.ミュージアム・シアター…… 40
6.コンサート…… 41
7.ハコビ・マジカル・ワークショップ…… 42
8.書道ワークショップ…… 43
9.ハコビ・アトリエ…… 43
10.出張アート教室／オンライン・アート教室…… 44
11.教員のための鑑賞研修…… 45
12.博物館実習…… 46
美術作品の収集
1.令和3年度作品収集状況・収集作品一覧…… 47
2.令和4年度作品収集状況・収集作品一覧…… 48
3.収集作品図版目録…… 50
美術作品の貸出…… 57
貸館事業…… 58
刊行物…… 58
展覧会別観覧状況…… 59
関係者名簿及び職員…… 60
沿革…… 61
建築設備概要…… 62

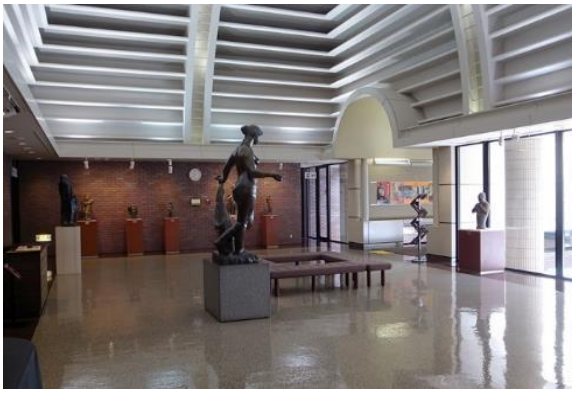
●展覧会事業

ミュージアム・コレクション

館内中央ホール、ロビー、中庭、前庭には、ロダン、ブールデル、ルノワールなどの西洋近代彫刻ならびに日本近代彫刻を展示している。また、書と東洋美術を展示する鷗亭記念室と、主に道南ゆかりの美術や現代美術を紹介する常設展示室において、年3回の展示替えを行い、当館の所蔵品および受託作品を中心に紹介している。

1. 近代彫刻

ホールには、フランスの近代彫刻を代表するロダン、ブールデルの作品のほか、ルノワールの彫刻作品《勝利のヴィーナス》を、ロビー・中庭には西洋および日本の近代彫刻を展示している。また、前庭にはモニュメントとして、ブールデルの《自由》《サッフォー》を展示している。


ホール

（ホール及びロビー展示作品）

オーギュスト・ロダン	《衣をまとったバルザック》	1897
オーギュスト・ルノワール	《勝利のヴィーナス》	1915～16
エミール=アントワーヌ・ブールデル	《衣をまとったベートーヴェン》	1910
〃	《聖母子(アルザスの聖母像)》	1919～20
〃	《ベートーヴェンの首》	1929
小川　誠	《祈り》	1999(平成11)
エミール=アントワーヌ・ブールデル	《果実》	1911
〃	《悲愴(十字架のベートーヴェン)》	1929
北村　治禧	《心の舞》	1983(昭和58)
古賀　忠雄	《平和》	1965(昭和40)
〃	《草原の朝(馬と少年)》	1970(昭和45)

オーギュスト・ロダン
《衣をまとったバルザック》

オーギュスト・ルノワール
《勝利のヴィーナス》

（中庭展示作品）

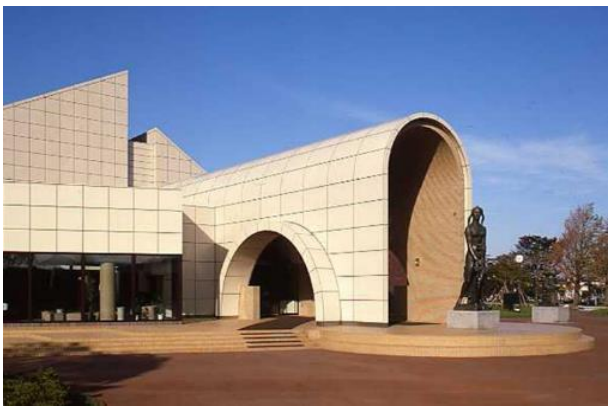
池田　譲	《□＜○》	1995(平成7)
池田　譲	《作品9706》	1997(平成9)

池田　譲《作品9706》

小川　誠《祈り》

（前庭展示作品）

エミール=アントワーヌ・ブールデル	《自由》	1923
〃	《サッフォー》	1925


美術館全景

エミール=アントワーヌ・ブールデル
《自由》

エミール=アントワーヌ・ブールデル
《サッフォー》

2. 鷗亭記念室

松前出身の書家、金子鷗亭の作品をはじめとする日本近現代の書家の作品、そして鷗亭から寄贈された中国・日本の絵画、中国・朝鮮の工芸品、中国の書家の作品など、書と東洋美術の世界を中心に展示紹介するほか、常設展示室と共通するテーマ展示も行っている。

令和3年度

※観覧者数は、常設展示室と共通である。

	タイトル・テーマ	会期	日数	観覧者数	展示概要
1	ミュージアム・コレクション春～夏: 没後20年　金子鷗亭 天来と鷗亭 特別展示　蠣崎波響	2021.4.24(土)～9.26(日)	88	4,558	現代書の世界を切り拓いた金子鷗亭と、その師である比田井天来の書を展示。特別展示として当館所蔵の蠣崎波響の作品を4月24日～6月20日の期間で展示。
2	ミュージアム・コレクション秋～冬: 没後20年　金子鷗亭 近代詩文書の魅力	2021.10.9(土)～12.5(日)	51	2,295	金子鷗亭がつくりあげた「近代詩文書」の作品を展示し、その魅力を紹介。
3	ミュージアム・コレクション冬～春: 没後20年　金子鷗亭 線とリズム	2021.12.25(土)～ 2022.3.31(木)	78	1,630	金子鷗亭による多彩な書風の作品を展示。

令和4年度

※観覧者数は、常設展示室と共通である。

	タイトル・テーマ	会期	日数	観覧者数	展示概要
1	ミュージアム・コレクション冬～春: 没後20年　金子鷗亭 線とリズム	2022.4.1(金)～4.10(日)	9	311	金子鷗亭による多彩な書風の作品を展示。
2	ミュージアム・コレクション春～夏: 散らし書きの美	2022.4.29(金)～9.25(日)	113	7,865	線と余白が織りなす繊細な表現である散らし書きを紹介。
3	ミュージアム・コレクション秋～冬: 東洋工芸コレクション ―鷗亭のまなざし	2022.10.8(土)～12.4(日)	51	3,025	書家・鷗亭のコレクションから中国や朝鮮の工芸品などを展示。
4	ミュージアム・コレクション冬～春: 鷗亭と牧水	2022.12.24(土)～ 2023.3.31(金)	71	2,476	若山牧水の短歌を題材にした鷗亭の書と鷗亭揮毫の荒川武夫による陶芸作品を展示。

鷗亭記念室出品目録

令和3年度

2021.4.24(土)～9.26(日) ミュージアム・コレクション春～夏:没後20年 金子鷗亭 天来と鷗亭

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	所蔵・展示替え
1	比田井天来	七言対句 竹杖穿雲		墨・紙	137.2×133.7	
2	比田井天来	七言対句 坐餐	1933(昭和8)	墨・紙	135.0×34.0	
3	比田井天来	七言対句 風飜	1933(昭和8)	墨・紙	48.5×59.5	
4	比田井天来	四言対句 瑤草	1936(昭和11)	墨・紙	137.0×46.0	
5	金子鷗亭	高青邱詩 焼筍	1938(昭和13)	墨・紙	128.0×34.0	函館市蔵(当館受託)
6	金子鷗亭	陶淵明詩 桃花源記	1940(昭和15)	墨・紙	138.5×68.5	函館市蔵(当館受託)
7	金子鷗亭	藤田東湖詩 正気歌	1947(昭和22)	墨・紙	170.0×170.0	函館市蔵(当館受託)
8	金子鷗亭	臨書 楽毅論	1981～85(昭和56～60)	墨・紙	138.0×34.0	
9	金子鷗亭	臨書 蘭亭叙	1981～85(昭和56～60)	墨・紙	138.0×34.0	
10	蠣崎波響	桜花図(岡本花亭詩書)	1833(天保4)	紙本淡彩、墨書	詩43.3×53.3 画58.6×53.3	4/24(土)～6/20(日)展示
11	蠣崎波響	名鷹図	1815(文化12)	絹本彩色	100.4×43.8	4/24(土)～6/20(日)展示
12	蠣崎波響	楊貴妃図		絹本彩色	96.5×36.0	4/24(土)～6/20(日)展示
13	蠣崎波響	京洛十二ヶ月図画巻	1819(文政2)	紙本淡彩	26.3×1011.0	4/24(土)～6/20(日)展示

2021.10.9(土)～12.5(日) ミュージアム・コレクション秋～冬:没後20年 金子鷗亭 近代詩文書の魅力

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(平面:縦×横、立体:奥行×幅×高さcm)	所蔵
1	金子鷗亭	井上靖詩 交脚弥勒	1986(昭和61)	墨・紙	137.5×399.0	
2	金子鷗亭	北原白秋詩 落葉松	1983(昭和58)	墨・紙	165.0×272.0	
3	金子鷗亭	小野十三郎詩 断崖	1955(昭和30)	墨・紙	68.0×134.5	函館市蔵(当館受託)
4	金子鷗亭	武者小路実篤詩 レンブラント	1976(昭和51)	墨・紙	103.5×131.0	函館市蔵(当館受託)
5	金子鷗亭	北川冬彦詩 瞰下景	1959(昭和34)	墨・紙	10.5×15.5	函館市蔵(当館受託)
6	金子鷗亭	田中冬二詩 冴えた冬の夜	1956(昭和31)	墨・布	32.0×35.0	函館市蔵(当館受託)
7	金子鷗亭	草野心平詩 蛙	1957(昭和32)	墨・紙	150.0×150.0	函館市蔵(当館受託)
8	荒川武夫	鷗亭題字「延寿萬歳」虎渓山皿		陶磁	23.0 × 23.0 × 2.5	
9	荒川武夫	鷗亭題字「萬寿」虎渓山皿		陶磁	24.0 × 24.0 × 2.5	
10	荒川武夫	鷗亭題字「牧水歌 ひともとや」虎渓山皿		陶磁	24.0 × 24.0 × 2.5	
11	荒川武夫	鷗亭鴎亭題字「鷹一つ」虎渓山唐津風茶碗	1984(昭和59)	陶磁	9.5 × 9.5 × 9.5	
12	荒川武夫	鷗亭題字「芭蕉句 名月や」虎渓山唐津風茶碗	1984(昭和59)	陶磁	14.0 × 14.0 × 8.0	
13	荒川武夫	鷗亭題字「芭蕉句 閑さや」虎渓山唐津風茶碗	1965(昭和40)	陶磁	14.5 × 14.5 × 8.5	

2021.12.25(土)～2022.4.10(日) ミュージアム・コレクション冬～春:没後20年 金子鷗亭 線とリズム

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(平面:縦×横、立体:奥行×幅×高さcm)	所蔵
1	金子鷗亭	松尾芭蕉六句	1994(平成6)	墨・紙	171.0×295.0	
2	金子鷗亭	北原白秋詩 白金ノ独楽	1952(昭和27)	墨・紙	66.2×131.7	函館市蔵(当館受託)
3	金子鷗亭	蘇東坡詩 和孔密州東欄梨花	1961(昭和36)	墨・紙	45.5×70.0	函館市蔵(当館受託)
4	金子鷗亭	自作句 漂渺の気流	1978(昭和53)	墨・紙	61.0×143.0	函館市蔵(当館受託)
5	金子鷗亭	自詠 オペラ座	1979(昭和54)	墨・紙	99.5×131.5	函館市蔵(当館受託)
6	金子鷗亭	自作句 秋風や	1991(平成3)	墨・紙	43.5×59.0	
7	金子鷗亭	ハイネ詩 花のおとめ	1971(昭和46)	墨・紙	136.0×136.0	函館市蔵(当館受託)
8		緑釉猿文博山爐	漢代	陶磁	19.0 × 19.0 × 23.0	
9		堆朱獅子人物文香合	明代末～清	漆工	8.5 × 8.5 × 4.0	
10		青白磁香合(景徳鎮窯)	宋代	陶磁	6.0 × 6.0 × 3.3	
11		青花龍文香爐(景徳鎮窯)	清代	陶磁他	9.5 × 9.5 × 11.0	
12		祥瑞手桃形香合(景徳鎮窯)	清代	陶磁	6.5 × 6.5 × 8.0	
13		宗胡録染付香合		陶磁	7.0 × 7.0 × 7.5	
14		志野花文香合	江戸初期	陶磁	4.0 × 4.0 × 3.5	

令和4年度

2022.4.29（金）～ 9.25（日） ミュージアム・コレクション春～夏：散らし書きの美

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（縦×横cm）	所蔵
1	松本暎子	古今集賀歌屏風	1991（平成3）	墨・紙	各157.0×385.0	
2	松本春子	源氏物語　初音	1937（昭和12）	墨・紙	各25.0×35.0	
3	大石隆子	万葉三種　夕ざれば/春日野に/夕づく夜	1982（昭和57）	墨・紙	49.4×87.6	
4	大石隆子	菊	1991（平成3）	墨・紙	9.0×23.9	
5	松本春子	自詠　さいはての	1985（昭和60）	墨・紙	67.5×67.5	
6	熊谷恒子	連月尼歌　旅	不詳	墨・紙	35.0×49.0	
7	大川壽美子	源氏物語　澪標　抄/薄雲　抄	2016（平成28）	墨・紙	各24.9×36.3	
8	金子鷗亭	臨　寸松庵色紙	1985（昭和60）	墨・紙	各33.0×211.5	

2022.10.8(土)～12.4(日） ミュージアム・コレクション秋～冬：東洋工芸コレクション　鷗亭のまなざし

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（平面:縦×横、立体:奥行×幅×高さcm）	所蔵
1		唐三彩駱駝	唐代	陶磁	37.0×13.0×51.0	
2		三彩胡貌駝丁	唐代	陶磁	18.0×13.0×44.0	
3		紅陶加彩婦人俑	唐代	陶磁	10.8×8.5×38.0	
4		三彩馬	唐代	陶磁	53.0×15.0×54.0	
5		緑釉加彩馬	唐代	陶磁	53.0×20.0×55.0	
6		三彩虎形水滴	宋代	陶磁	8.0×5.0×6.0	
7		紅釣窯水滴	明代	陶磁	7.0×7.0×3.5	
8		玉水滴	清代	玉	6.0×6.0×4.0	
9		龍首水滴	清代	陶磁	13.0×6.5×7.5	
10		水滴　銘「清陳鴻寿」	清代	陶磁	12.0×8.0×4.0	
11		蕎麦釉水滴	清代	陶磁	9.0×5.0×5.0	
12		五彩水滴	清代	陶磁	11.0×6.0×7.5	
13		五彩水滴	清代	陶磁	11.0×4.0×8.5	
14		青磁鴨形水滴	高麗14世紀	陶磁	12.0×2.5×6.0	
15		青磁象嵌八角面取花文水滴	高麗14世紀	陶磁	5.0×5.0×2.5	
16		白磁染付菊花文丸形水滴	李朝17世紀	陶磁	10.0×10.0×8.5	
17	金子鷗亭	白磁丸形水滴	李朝17世紀	陶磁	10.5×10.5×11.0	
18	金子鷗亭	白磁染付山水水滴	李朝18世紀	陶磁	7.0×7.5×4.5	
19	金子鷗亭	白磁染付蘭花文八角面取水滴	李朝18世紀	陶磁	12.0×12.0×6.0	
20	金子鷗亭	白磁染付山水水滴	李朝18世紀	陶磁	8.5×8.5×3.0	
21	金子鷗亭	白磁染付山水環形水滴	李朝19世紀	陶磁	9.0×9.0×4.0	
22	金子鷗亭	染付角形山水水滴	李朝	陶磁	6.0×6.0×3.0	
23	金子鷗亭	青白磁仙者形水滴	李朝	陶磁	5.0×10.0×6.0	
24		白磁染付辰砂獅子水滴	李朝18世紀	陶磁	8.0×6.0×6.0	
25		白磁染付獅子水滴	李朝19世紀	陶磁	16.0×9.0×9.0	
26		白磁辰砂瓜形水滴	李朝18世紀	陶磁	11.0×11.0×7.5	
27		辰砂柘榴大水滴	李朝	陶磁	16.0×16.0×3.0	
28		白磁染付柿形面取水滴	李朝18世紀	陶磁	7.5×6.5×6.5	
29		辰砂鉄砂三桃水滴	李朝	陶磁	15.0×15.0×11.0	
30		白磁環形水滴	李朝	陶磁	12.5×13.0×3.0	
31		辰砂龍形水滴	李朝	陶磁	16.0×5.5	
32		三彩水注	唐代	陶磁	12.5×12.5×15.5	
33		黒釉堆線双耳水注	北宋	陶磁	15.5×14.5×19.0	
34		白磁水注（定窯）	北宋	陶磁	16.5×13.5×19.0	
35		白地鉄斑文水注（磁州窯）	宋代	陶磁	11.0×11.0×19.4	
36		白化粧地灰釉水注（磁州窯）	宋代	陶磁	17.5×17.5×31.5	
37		呉須柿地水注	明代	陶磁	8.0×9.0×11.0	
38		辰砂桃水注（景徳鎮窯）	清代	陶磁	19.0×9.5×15.0	
39		青花水注	清代嘉慶年間	陶磁	15.5×10.0×12.5	
40		白磁百足円硯	唐代	陶磁	20.5×20.5×7.0	
41		馬肝色太史式蜘龍硯	宋代	石	18.0×28.5×7.1	
42		馬肝色翔龍長方硯	宋代	石	13.9×23.3×8.0	
43		大西洞硯板	明代	石	15.8×23.5×4.8	
44		八星硯		石	16.0×19.3×2.7	
45		歙州眉子紋硯		石	10.8×18.9×3.0	
46		青花龍文筆盒（景徳鎮窯）	明代（16世紀末～17世紀初）	陶磁	31.0×12.5×9.5	
47		白玉蕉葉筆洗	清代	玉	15.5×8.5×5.0	

48		琥珀人物形筆架	清代	琥珀	7.0×4.0×7.5
49		堆朱花鳥龍文筆筒	清代	漆工	12.0×12.0×12.0
50		堆朱獅子人物文香合	明代末期～清	漆工	8.5×8.5×4.0
51		青白磁香合(景徳鎮窯)	宋代	陶磁	6.0×6.0×3.3
52		祥瑞手桃形香合(景徳鎮窯)	清代	陶磁	6.5×6.5×8.0
53		青花龍文香爐(景徳鎮窯)	清代	陶磁	9.5×9.5×11.0
54		緑釉猿文博山爐	漢代	陶磁	19.0×19.0×23.0
55		鶏血印材二顆		石	各 2.2×2.2×10
56		鶏血印材三顆		石	3.1×3.1×8.1、4.3×2.4×8.5、3.1×3.1×8.1
57		自詠　唐三彩いななく	1986(昭和61)	墨・紙	138.0×58.0
58		自詠　唐三彩女の俑	1984(昭和59)	墨・紙	138.0×52.0

2022.12.24(土)～2023.3.31(金) ミュージアム・コレクション冬～春：鷗亭と牧水

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(平面:縦×横、立体:奥行×幅×高さcm)	所蔵
1	金子鷗亭	若山牧水歌　山ざくらの歌六連	1991(平成3)	墨・紙	137.4×49.5	
2	金子鷗亭	若山牧水歌「山ざくら」 うららうらと照れる	1975(昭和50)	墨・紙	46.0×70.0	函館市蔵(当館受託)
3	金子鷗亭	若山牧水歌「山ざくら」 つめたきは	1979(昭和54)	墨・紙	100.0×138.5	函館市蔵(当館受託)
4	金子鷗亭	若山牧水歌　山ざくら咲けり	1981(昭和56)	墨・紙	100.0×138.0	函館市蔵(当館受託)
5	金子鷗亭	若山牧水歌「山ざくら」朝づく日	1981(昭和56)	墨・紙	68.5×116.0	函館市蔵(当館受託)
6	金子鷗亭	若山牧水歌「山ざくら」 ひともとや	1982(昭和57)	墨・紙	51.0×136.0	
7	金子鷗亭	若山牧水歌「山ざくら」 瀬々走る	1983(昭和58)	墨・紙	139.0×52.0	
8	金子鷗亭	若山牧水歌「渓間の春」 山ざくら	1992(平成4)	墨・紙	54.3×134.7	
9	金子鷗亭	若山牧水歌　朝づく日	2001(平成13)	墨・紙	137.0×51.5	
10	荒川武夫	鷗亭題字「牧水歌　ひともとや」虎渓山皿		陶磁	24.0×24.0×2.5	
11	荒川武夫	鷗亭題字「萬寿」虎渓山皿	1984(昭和59)	陶磁	24.0×24.0×2.5	
12	荒川武夫	鷗亭題字「延寿萬歳」虎渓山皿		陶磁	23.0×23.0×2.5	
13	荒川武夫	鷗亭題字「寶字」虎渓山唐津風茶碗	1965(昭和40)	陶磁	11.0×11.0×8.5	
14	荒川武夫	鷗亭題字「天賜清福」虎渓山唐津風茶碗		陶磁	13.0×13.0×9.0	
15	荒川武夫	鷗亭題字「鷹一つ」虎渓山唐津風茶碗	1984(昭和59)	陶磁	9.5×9.5×9.5	
16	荒川武夫	鷗亭題字「芭蕉句　明月や」虎渓山唐津風茶碗	1984(昭和59)	陶磁	14.0×14.0×8.0	
17	荒川武夫	鷗亭題字「芭蕉句　山路来て」虎渓山唐津風茶碗	1984(昭和59)	陶磁	11.0×11.0×9.0	

3. 常設展示室

田辺三重松をはじめ、蠣崎波響、岩船修三など道南ゆかりの作家の作品や、当館の収集方針のひとつである「文字と記号に関わる現代美術」などを中心に展示するほか、鷗亭記念室と共通するテーマ展示を行なった。

令和3年度

※観覧者数は、鷗亭記念室と共通である。

	タイトル・テーマ	会期	日数	観覧者数	展示概要
1	ミュージアム・コレクション春～夏: 没後50年 田辺三重松	2021.4.24(土)～9.26(日)	88	4,558	北海道の自然や函館の街などを大らかな筆致で描き、独自の画風を確立した田辺三重松。没後50年を記念して、円熟期の代表作の中から、北海道を描いた作品を中心に紹介した。
2	ミュージアム・コレクション秋～冬: 新収蔵品展	2021.10.9(土)～12.5(日)	51	2,295	令和2年度に新たに収蔵された作品を展示。
3	ミュージアム・コレクション冬～春: 美術のなかの文字	2021.12.25(土)～ 2022.3.31(木)	78	1,630	文字を使った様々な表現の作品を展示。

令和4年度

※観覧者数は、鷗亭記念室と共通である。

	タイトル・テーマ	会期	日数	観覧者数	展示概要
1	ミュージアム・コレクション冬～春: 美術のなかの文字	2022.4.1(金)～4.10(日)	9	311	文字を使った様々な表現の作品を展示。
2	ミュージアム・コレクション春～夏: 岩船修三 アイヌ・ユーカラの世界	2022.4.29(金)～9.25(日)	113	7,865	アイヌ叙事詩「ユーカラ」を主題にした岩船修三の絵画を展示。
3	ミュージアム・コレクション秋～冬: 江戸の役者絵	2022.10.8(土)～12.4(日)	51	3,025	歌川国貞(三代豊国)の役者絵「見立三十六歌撰」を展示。
4	ミュージアム・コレクション冬～春: 新収蔵品展	2022.12.24(土)～ 2023.3.31(金)	71	2,476	令和3年度に新たに収蔵された作品を展示。

常設展示室出品目録

令和3年度

2021.4.24(土)～9.26(日) ミュージアム・コレクション春～夏：没後50年　田辺三重松

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	所蔵
1	田辺三重松	開墾地	1958(昭和33)	油彩・キャンバス	90.9×72.2	
2	田辺三重松	はまなすの砂丘	1961(昭和36)	油彩・キャンバス	112.0×145.5	
3	田辺三重松	阿寒湖	1963(昭和38)	油彩・キャンバス	123.0×302.0	
4	田辺三重松	積丹の海	1964(昭和39)	油彩・キャンバス	65.1×116.8	
5	田辺三重松	灯台のある草原	1965(昭和40)	油彩・キャンバス	91.0×116.8	
6	田辺三重松	大雪連峰初夏	1969(昭和44)	油彩・キャンバス	57.5×100.0	
7	田辺三重松	神威岬	1969(昭和44)	油彩・キャンバス	115.0×141.0	
8	田辺三重松	海辺	1962(昭和37)	油彩・キャンバス	112.1×145.5	
9	田辺三重松	船	1960(昭和35)	油彩・キャンバス	90.9×116.7	
10	田辺三重松	スケッチ	不詳	水彩、鉛筆・紙		
11	田辺三重松	パレット		木製		市立函館博物館蔵
12	田辺三重松	絵具箱		木製		市立函館博物館蔵
13	田辺三重松	絵筆				市立函館博物館蔵

2021.10.9(土)～12.5(日) ミュージアム・コレクション秋～冬：新収蔵品展

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	所蔵
1	奈良原一高	《王国》より	不詳	ゼラチンシルバープリント、紙　他(6点)	47.5×31.5他	
2	岩船修三	《子供のためのユーカラ画集》「蕗の葉の下の小さい神様コロポックル」より	不詳	水彩・紙	91.0×116.8	
3	岩船修三	《子供のためのユーカラ画集》「宿なし仔熊」より	不詳	水彩・紙	91.0×116.8	
4	千葉軒岳	窯元で藍を競いぬ皿と壺	2010(平成22)	彩色、墨・紙	68.0×137.0	
5	千葉軒岳	宗達を追う光琳と抱一　右隻より風神 左隻より雷神	2013(平成25)	彩色、墨、コラージュ・紙	70.0×135.0	
6	小玉貞良	江差屏風	1751～64(宝暦年間)	紙本彩色	182.0×382.0	
7	味戸ケイコ	角野栄子『男の子って』挿画	2010(平成22)	鉛筆、水彩・カードボード	32.9×46.6	
8	味戸ケイコ	舟崎克彦『あのこがみえる』挿画	1975(昭和50)	鉛筆、水彩・カードボード	33.1×29.2	
9	味戸ケイコ	岩瀬成子『夜くる鳥』挿画	1997(平成9)	鉛筆、水彩・カードボード(2点)	各21.8×44.8	

2021.12.25(土)～2022.3.31(木) ミュージアム・コレクション冬～春：美術のなかの文字

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(平面:縦×横、立体:奥行×幅×高さcm)	所蔵
1	ジェニー・ホルツァー	4つのテキスト:「暴行殺人」「走奪」「アルノ川」「青」	1993～98	LEDサイン(ブルーダイオード) ※641語の英文テキストを反復点灯	133.3×146.7×7.6	
2	バーバラ・クルーガー	無題(We will undo you)	1981～83	写真・ボード	185.0×124.0	
3	ジョセフ・コスース	題(芸術としての芸術という概念)	1967	印刷・板	125.0×125.0	
4	河原　温	《Nov.23, 1971》Todayシリーズ(1966-2013)より	1971(昭和46)	アクリル・キャンバス等 紙箱付属(内側に新聞紙貼付1971年11月23日付New York Time紙)	25.4×33.0	
5	岡田　博	RED	1971(昭和46)	アクリル・キャンバス	72.8×103.0	
6	高松次郎	THESE THREE WORDS	1970(昭和45)	オフセット・紙	80.0×56.0	
7	高松次郎	この七つの文字	1970(昭和45)	オフセット・紙	61.0×25.0	
8	村上善男	黒石府下之図油横町に釘打ち	1992(平成4)	アクリル・キャンバス	182.5×228.5	
9	金　昌烈	水滴	1986	油彩・麻布	162.5×97.0	

令和4年度

2022. 4. 29(金)～9. 25(日) ミュージアム・コレクション春～夏：岩船修三　アイヌ・ユーカラの世界

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	所蔵・展示替え
1	岩船修三	クンネレク・カムイ(夜叫ぶ神)ふくろう	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	60.6×72.7	
2	岩船修三	国造りの神(コタン・カム・カムイ)と妹の女神と天下る	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	44.2×51.8	
3	岩船修三	蕗の葉の下の神さまコロポックル達	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	59.4×71.5	
4	岩船修三	部落の守神(コタンクル・カムイ)の縞梟	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	44.2×52.0	
5	岩船修三	魔神の大鯨(アメマス)と戦うアイヌ・ラックル	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	72.0×89.8	

6	岩船修三	『子供のためのユーカラ画集』より 蕗の葉の下の小さい神さまコロポックル(7点組)	1977(昭和52) 画集刊行	グワッシュ・紙	各38.6×45.8
7	岩船修三	『子供のためのユーカラ画集』より 宿なし仔熊(7点組)	1977(昭和52) 画集刊行	グワッシュ・紙	38.2×46.0ほか
8	岩船修三	『ユーカラ画集』	1973(昭和48) 刊行	書籍	
9	岩船修三	『子供のためのユーカラ画集』	1977(昭和52) 刊行	書籍	

2022.10.8(土)～12.4(日) ミュージアム・コレクション秋～冬:江戸の役者絵

No	作家名	作品名	制作年	技法・材質	判型	所蔵
1	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:柿本人丸[松浦さよ姫]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	
2	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:素性法師[石川五右衛門]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	
3	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:中納言朝忠[浦さと]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	
4	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:三条院女蔵人左近[時次郎]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	
5	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:凡河内躬恒[舎人さくら丸]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	
6	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:藤原興風[舎人梅王丸]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	
7	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:大中臣能宣[舎人松王丸]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	
8	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:伊勢[熊谷女房相模]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	
9	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:僧正遍照[光秀妻さつき]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	
10	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:小野小町[はま路]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	
11	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:紀友則[伝兵衛]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	
12	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:猿丸太夫[猿廻シ与次郎]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	
13	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:斎宮女御[みな鶴姫]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	
14	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:大中臣頼基[鬼一法眼]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	
15	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:清原元輔[猟師芝六]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	
16	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:壬生忠見[もとめ]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	
17	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:山部赤人[文次安方]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	
18	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:中務[安方ノ亡霊]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	
19	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:在原業平朝臣[清玄]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	
20	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:藤原敏行朝臣[累の亡霊]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	
21	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:紀貫之 [関兵衛]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	
22	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:藤原元真[墨染桜ノ霊]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	
23	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:中納言家持[狐忠のぶ]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	
24	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:藤原仲文[遠藤武者]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	
25	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:中納言兼輔[ひぐちの次郎]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	
26	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:権中納言敦忠[俊寛僧都]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	
27	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:源宗于朝臣[常盤御前]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	
28	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:藤原清正[中納言行平]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	
29	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:源順[高師直]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	
30	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:坂上是則[時より]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵	

31	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:平兼盛[さねもり]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵
32	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:壬生忠峯[男之助]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵
33	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:藤原高光[よりかね]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵
34	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:源公忠朝臣[高尾]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵
35	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:源信明朝臣[朝きり]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵
36	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:源重之[放駒ノ長吉]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵

2022.12.24(土)～2023.3.31(金) ミュージアム・コレクション冬～春:新収蔵品展

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	所蔵
1	長谷川晶	work-A-95'	1995(平成7)	金属、油彩・木製パネル	120.0×120.0	
2	長谷川晶	work-95'	1995(平成7)	金属、油彩・木製パネル	120.0×120.0	
3	池谷寅一	晩春C	1937(昭和12)	油彩・キャンバス	80.5×100.0	
4	池谷寅一	函館風景6 ＊1987年度収蔵作品	1975(昭和50)	油彩・キャンバス	97.0×130.3	
5	瀬戸英樹	はさ架け風景	1999(平成11)	油彩・キャンバス	130.0×300.0	
6	瀬戸英樹	海峡からの潮風 舟下す ＊2016年度収蔵作品	2015(平成27)	油彩・キャンバス	90.9×116.7	
7	瀬戸英樹	海峡からの潮風 下絵(17点組)	不詳	鉛筆、水彩・紙	32.5×76.5他	

*所蔵に記載のない作品はすべて当館蔵

特別展

令和3-4年度特別展一覧

令和3年度

展覧会名	会期	日数	観覧者数	主催・後援等
海と山との対話	2021.4.1(木)～4.4(日)	4	268	主催:北海道立函館美術館 共催:北海道新聞函館支社 後援:函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいるか 協力:北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社、函館美術館ボランティアいちいの会
北海道立近代美術館 友田コレクション×荒井記念美術館 ピカソ・コレクション 西洋版画の魅力	2021.4.24(土)～5.16(日) (予定会期：2021.4.24(土)～6.20(日))	20	1,145	主催:北海道立函館美術館 共催:北海道新聞函館支社 後援:函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいるか 協力:北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社、函館美術館ボランティアいちいの会 特別協力:一般財団法人荒井記念美術館、北海道立近代美術館
光と遊ぶ超体感型ミュージアム 魔法の美術館	2021.7.17(土)～9.26(日)	62	13,470	主催:北海道立函館美術館、北海道新聞社、「魔法の美術館」展実行委員会 後援:函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいるか 協力:北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社 企画協力:ステップ・イースト
北の抒情と幻想 国松 登 展	2021.10.9(土)～12.5(日)	51	2,337	主催:北海道立函館美術館 共催:北海道新聞函館支社 後援:函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいるか 協力:北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社
アートのみかた、カギはここにあり。 美術をまるごと楽しもう！	2021.12.25(土)～2022.3.31(木)	78	2,047	主催:北海道立函館美術館 共催:北海道新聞函館支社 後援:函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいるか 協力:北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社、函館美術館ボランティアいちいの会

令和4年度

展覧会名	会期	日数	観覧者数	主催・後援等
アートのみかた、カギはここにあり。 美術をまるごと楽しもう！	2022.4.1(金)～4.10(日)	9	367	主催:北海道立函館美術館 共催:北海道新聞函館支社 後援:函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいるか 協力:北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社、函館美術館ボランティアいちいの会
奈良原一高－王国 Domains	2022.4.29(金)～6.19(日)	45	2,462	主催:北海道立函館美術館 共催:北海道新聞函館支社 後援:函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいるか 協力:北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社
笠間日動美術館コレクション 魅惑の西洋近代絵画 モネ、ルノワールからピカソ、マティスまで	2022.7.16(土)～9.25(日)	62	11,721	主催:北海道立函館美術館、北海道新聞社、魅惑の西洋近代絵画実行委員会 後援:函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいるか 協力:北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社 特別協力:公益財団法人日動美術財団、笠間日動美術館
詩文書の魅力 金子鷗亭と中野北溟	2022.10.8(土)～12.4(日)	51	2,948	主催:北海道立函館美術館 共催:北海道新聞、毎日新聞北海道支社 後援:函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいるか 協力:北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社、函館美術館ボランティアいちいの会 特別協力:羽幌町立中央公民館 協賛:公益社団法人創玄書道会
来し方行く末 道南美術のクロニクル	2022.12.24(土)～2023.3.5(日)	57	2,408	主催:北海道立函館美術館 共催:北海道新聞函館支社 後援:函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいるか 協力:北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社、函館美術館ボランティアいちいの会

令和3年度特別展

北海道立近代美術館 友田コレクション×荒井記念美術館 ピカソ・コレクション
西洋版画の魅力

会期：2021年4月24日（土）～5月16日（日）　　20日間　（5/18-6/20は臨時休館）
主催：北海道立函館美術館
共催：北海道新聞函館支社
後援：函館市、函館市教育委員会、ＮＨＫ函館放送局、ＦＭいるか
協力：北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社、函館美術館ボランティアいちいの会
特別協力：一般財団法人荒井記念美術館、北海道立近代美術館

観覧者数：1,145名
観覧料：一般920（720）円、高大生610（410）円、小中生300（200）円

ポスター（B2）/チラシ（A4）共通デザイン

北海道立近代美術館の友田コレクションは、詩人で児童文学者の友田多喜雄氏が収集した、シャガールやルオー、マティスなどの作品を含む近現代の名作版画コレクション。一方、岩内町にある一般財団法人荒井記念美術館のピカソ・コレクションも、出版社を経営していた実業家の故・荒井利三氏が収集した国内屈指のコレクション。これら二つのコレクションから、西洋版画の名品約450点を紹介した。
本展は、道内のミュージアムが所蔵するすぐれたコレクションを紹介する「アートギャラリー北海道」の一環として開催された。連携館である荒井記念美術館のピカソの版画コレクションと道立近代美術館の友田コレクションの西洋版画の名品をあわせて紹介することで、西洋近代美術の成果を一堂に展示する機会となった。

［関連事業］

見どころ解説

日時：5月1日（土）14:00～　聴講者数：12名
　　5月29日（土）14:00～　　＊新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止
講師：当館学芸員
会場：当館講堂(無料)

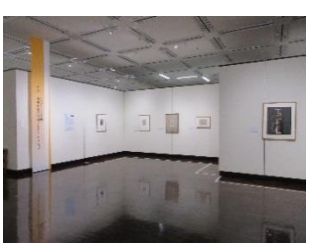
チケット

美術講座「作品のミリョクをひもとく」

日時：【前期】5月8日（土）14:00～（約90分）　聴講者数：13名
　　【後期】6月12日（土）14:00～　＊新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止
講師：柳沢弥生（当館主任学芸員）
会場：当館講堂(無料)

名画を楽しむ3日間

日時：5月3日（月）1回目：10:30～、2回目：14:00～「モダンタイムス」
　　入場者数：8名
　　5月4日（火）1回目：10:30～、2回目：14:00～「カサブランカ」
　　入場者数：15名
　　5月5日（水）1回目：10:30～、2回目：14:00～「ローマの休日」
　　入場者数：13名
会場：当館講堂(無料)


展示風景

美術映画会

日時：5月15日（土）14:00～　入場者数：8名
「名画の秘密シリーズ①　オルセー美術館（約30分）
日時：6月19日（土）14:00～
　　＊新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止
「名画の秘密シリーズ②　パリの夜と夢（約30分）
会場：当館講堂(入場無料)

出品目録

No.	作家名	作品名	制作	材質・形状	所蔵先	
Ⅰ章 友田多喜雄と版画コレクション						
1	清水　敦	ふるさとの詩―日本の玩具	刊行:1989（平成元）	メゾチント・紙（12点組）	北海道立近代美術館	
	八幡駒／犬張子／姉様人形／虎／うずら車／首人形					前期
	龍／鯛車／雀／折鶴／こけし／カチカチ車					後期
Ⅱ章 ルオーの世界						
2	ジョルジュ・ルオー	『悪の華』のために版刷された14図	1926～1927	エリオグラヴュール、シュガー・アクアチント、他・紙（14点組）	北海道立近代美術館	
	1 悪魔／2　辱めを受けるキリスト／3　キリスト／4『悪の華』／5　横向きの裸婦／6「肌黒きわが美人よ、君、眠りて…」／7 悪魔Ⅱ					前期
	8　悪魔Ⅲ／9　骸骨／10「辻々に売春の灯がともる…」／11「生者並みに誇り高く、われとわが貴なる姿を誇りつつ…」／12 悪魔Ⅳ／13「〈放蕩〉と〈死〉は…」／13「眉目麗しく、姿あでやかな女なり…」					後期
3	ジョルジュ・ルオー	ミセレーレ	1922～1927	エリオグラヴュール、シュガー・アクアチント、他・紙（58点組）	北海道立近代美術館	
	1　神よ、われを憐れみたまえ。あなたのおおいなる悲しみによって／2　イエスは辱しめられ… 3　たえまなく笞打たれ…／4　哀れな放浪者よ、お前の心の中に身を避ける 5　罠と悪意のこの世で、孤独／6　我らは苦役囚ではないのか？ 7　自分が王だと信じているが／8　自分の顔をつくらぬ者があろうか？ 9　道の美しい時もある…／10　悩みの果てぬ古き場末で 11　明日は晴れるだろう、と難破者は言っていた／12　生きるとは辛い業… 13　でも愛することができたなら、なんと楽しいことだろう／14　快楽の娘と呼ばれるが 15　清らかだった唇に、苦い味／16　上流社会のご婦人は、天国で予約席に着けると信じている 17　解放された女は、もったいぶった口調で歌う／18　罪を宣告された者は立ち去った… 19　弁護士は空々しい言葉で彼がまったく無意識であったと主張する…／20　忘れ去られた十字架のイエスの下で 21　”彼は虐げられ苦しめられ、しかも口を開かざりき”／22　さまざまな世の中で、荒野に種播くは美しい業 23　孤独者通り／24　”冬、大地の癩病” 25　ジャン＝フランソワは決してハレルヤを歌わない…／26　渇きと怖れの国では 27　世のことがらは涙を誘うものがある…／28　”我を信ずる者は、死すとも生きん” 29　朝の祈りを歌え、陽はまた昇る					前期
	30　”われら…彼の死において洗礼を受けたり”／31　”汝ら、互いに愛し合うべし” 32　主よ、あなたです、わたしはあなたを認めます／33　そして柔らかな布を持ったヴェロニカは、今なお道を行く 34　”廃墟すら滅びたり”／35　”イエスは、世の終わりに至るまで苦しみたまわん…” 36　これが最後だよ、おやじさん！／37　人は人にとりて狼なり 38　中国人が火薬を発明し、われらに贈ってくれたという／39　われらはみな愚か 40　向かい合い／41　占者たち 42　母親に忌み嫌われる戦争／43　”われら死すべきもの、われらもわれらのものすべても” 44　わが美しの国よ、どこにあるのだ？／45　刺草の床から出たとたん、死は彼を襲った 46　”正しい人は　白壇の木のごとく己れを打つ斧に香を移す”／47　深き淵より… 48　酒槽にて、ブドウは潰された／49　”心高貴なれば、首こわばらず” 50　”爪と嘴にて”／51　ランスの微笑からほど遠く 52　法は苛酷、されど法／53　七つの剣の悲しみを負う聖母 54　”死者よ起て！”／55　盲人も、時には目明きを慰めた 56　高慢と無信仰のこの暗き時、見守りつづける地の果ての聖母／57　”死に至るまで、しかも十字架の死に至るまで従順なれば” 58「われらが癒されたるは、彼の受けたる傷によりてなり」					後期
4	ジョルジュ・ルオー	ユビュおやじの転生	1928	エリオグラヴュール、エッチング、アクアチント、他・紙（22点組）	北海道立近代美術館	
	1　扉／2　困り者植民者／3　候補者さんブドゥーバダブー／4　政治屋／5　選挙人さん／6　聖教隊員ユビュおやじ／7　横顔／8　解放された黒人／9　植民地行政官／10　呪文／11　バンブーラ踊り					前期
	12　裸婦／13　熱帯の風景／14　水晶／15　イルマ嬢／16　飛ぶ魚／17　結婚／18　ふたりの奥様／19　サント・ニトゥーシュ／20　劇場支配人／21　坐る裸婦／22　大きな帽子の娼婦					後期
5	ジョルジュ・ルオー	ユビュおやじの転生　ミニアチュール版	1928	エリオグラヴュール、エッチング、アクアチント、他・紙（23点組）	北海道立近代美術館	
	1　困り者植民者／2　政治屋／3　植民地行政官／4　聖教隊員ユビュおやじ／5　飛ぶ魚／6　大きな帽子の娼婦／7　選挙人さん／8　裸婦／9　サント・ニトゥーシュ／10　横顔／11　水晶					前期
	12　ふたりの奥様／13　イルマ嬢／14　解放された黒人／15　劇場支配人／16　結婚／17　熱帯の風景／18　扉／19　バンブーラ踊り／20　熱帯の風景／21　呪文／22　候補人さんブドゥーバダブー／23　坐る裸婦					後期
6	ジョルジュ・ルオー	『受難』処刑を手伝う男	1936	シュガー・アクアチント、アクアチント、他・紙	北海道立近代美術館	前期
Ⅲ章 西洋版画の精華						
7	ウィリアム・ブレイク	詩：墓	1808	ラインエングレーヴィング・紙（6点組）	北海道立近代美術館	
	1　第2プレート：墓に下るキリスト／2　第4プレート：墓の中の助言者、王、武人、母、子／3　第6プレート：生命と離れ難く、肉体の上を漂う魂					前期
	4　第7プレート：死の谷へ下る人／5　第9プレート：墓穴を探る魂／6　第10プレート：氏を迎える善き長老					後期
8	エミール・ノルデ	二匹の空想の動物（黒と白）	1910	木版・紙	北海道立近代美術館	前期
9	アンリ・マチス	顔	1946	石版・紙	北海道立近代美術館	後期

10	アンリ・マチス	アポリネール	1952	アクアチント、石版・紙(9点組)	北海道立近代美術館	前期
	1 表紙／2 フロントピース／3 リトグラフ1／4 リトグラフ2／5 リトグラフ3／6 リトグラフ4／7 リトグラフ5／8 リトグラフ6／9 リトグラフ7					
11	アンリ・マチス	ポルトガルの尼僧の手紙	1952	石版・紙 (32点組)	北海道立近代美術館	後期
12	オディロン・ルドン	聖アントワーヌの誘惑 第3集再版	1896	石版・中国紙(22点組)	北海道立近代美術館	
	1－11 1 聖アントワーヌ:主よ！助たまえ！／2 そしていたるところに玄武岩の円柱がある…光線が円天井から射してくる／3 私の接吻には、おまえの個々の中でとろける果実のような味わいがある！…私を馬鹿にするのだね！さようなら！／4 花々が散り落ちる。そして一匹のニシキヘビの頭が現れる／5 ものかげでは、人々が泣いたり祈祷したりしている。その周囲を取り巻いて、彼等を激励する人々がいる…／6 …そして彼は不毛の起伏の多い原野を認める／7 …私は孤独のうちに沈んだ。私は後ろの木に住んでいたのだ／8 ヘレーナ(エンノイヤ)／9 たちまち三人の女神がおどり出る／10 太陽はわがものとなった！私は仏陀になった！／11 …頭を持たない眼が軟体動物のように漂っていた					前期
	12－22 12 オアンネス:混沌の最初の意識である私は、物質を固くし、形状を定まらせるために深淵からおどりでてきた／13 ここにいますはお恵み深い女神様、山にいますイダの女神だ／14 私はいつまでも偉大なイシス！まだ誰も私のセールをかかげたものはいない！私の果実が太陽なのだ！／15 彼はまっさかさまに深淵へ落ちてゆく／16 アントワーヌ:これらすべての目的はなんだろう？ 悪魔:目的などないのだ！／17 老婆:何が悪いのだ？大きな暗い穴じゃないか！中はからっぽさきっと／18 死神:私のおかげでお前も本機になることができるのだ。さあ抱き合おう／19 …私は、時おり、空に精霊の形のようなものをみとめたことがあった／20 …革袋のように丸い、海の獣たち／21 さまざまな住民が大洋の国々に棲んでいる／22 ついに太陽が現れる…そして、まるい太陽のただなかに、イエス・キリストの顔が光り輝く					後期
13	マルク・シャガール	『聖書』のための挿絵	1956	石版・アルシュ紙(29点組)	北海道立近代美術館	前期
	前期中に頁替え有。 ① 1 扉絵／2 剣を持った天使／3 天使／4 天国の天使／5 アブラハムとサラ／6 律法の板を授かるモーゼ／9 (作品8の裏面)／10 モーゼ／13 (作品12の裏面)／14 ソロモン／17 (作品16の裏面)／18 ダビデとアブサロン／21 (作品20の裏面)／22 エレミア／25 (作品24の裏面)／26 イザヤ／29 昇天するエリヤ(作品28の裏面) ② 1 扉絵／2 剣を持った天使／3 天使／4 天国の天使／5 アブラハムとサラ／7 (作品6の裏面)／8 モーゼ／11 (作品10の裏面)／12 モーゼ／15 (作品14の裏面)／16 ダビデとバテシバ／19 (作品18の裏面)／20 ハープを手にしたダビデ／23 (作品22の裏面)／24 エレミアの涙／27 神の啓示をうけるイザヤ／28 獅子と預言者ダニエル					
14	マルク・シャガール	『聖書』のためのデッサン	1958～1959	石版・ヴェラン・ダルシュ紙(24点組)	北海道立近代美術館	前期
	1 イスラエルの顔／2 楽園／3 楽園／4 創造／5 アラムとイヴと禁じられた木の実／6 神に呪われたイブ／7 地上の楽園を追われるアダムとイヴ／8 カインとアベル／9 サラとアビメレク／10 サラと天使たち／11 荒野の中のハガル／12 父の家の神像を盗むラケル／13 ユダの義理の娘タマル／14 ラハブとエリコの密偵／15 ナオミと2人の嫁／16 落穂を拾うルツ／17 ルツとボアズの出会い／18 ボアズの足にすがるルツ／19 ボアズ、目を醒まし足元のルツに気づく／20 ミカエルに助けられたダビデ／21 バスティを追い出すアスエルス／22 エステル／23 祈りを捧げるヨブ／24 絶望するヨブ					
15	マルク・シャガール	ポエム	1962～1968	木版、コラージュ・ヴェラン・ド・リーヴ紙(24点組)	北海道立近代美術館	後期
16	マルク・シャガール	『ラ・フォンテーヌの寓話』死と木こり	1927～1930	エッチング、アクアチント他・紙		前期
17	マルク・シャガール	『ラ・フォンテーヌの寓話』木こりとメルキュール	1927～1930	エッチング、アクアチント他・紙		後期
18	マルク・シャガール	幻想のパリ	1952	石版・紙(8点組)	北海道立近代美術館	
	2 ノートルダム寺院の前の母と子／4 パリの黒い太陽／5 凱旋門／7 コンコルド広場					前期
	1 たそがれ／3 セーヌ河の橋／6 パリのヴィジョン／8 エッフェル塔(第2ステート)					後期
19	マリー・ローランサン	マリアンナ	1932	石版・中国紙(4点組)	北海道立近代美術館	
	1 アルベール・フラマンの肖像／2 右向きの女の顔／3 肩掛けをした女の顔／4 左向きの女の顔					前期
20	ジョルジュ・ブラック	地獄へ	1961	石版・紙(4点組)	北海道立近代美術館	後期
21	ラウル・デュフィ	タイトル不詳(詩集のための挿画)	1916	木版・紙	北海道立近代美術館	前期
22	ラウル・デュフィ	サン＝タドレス港の水浴者	1920頃	石版・紙	北海道立近代美術館	後期
23	藤田嗣治	獣一覚	刊行:1928	エッチング・ヴェラン・ダルシュ紙(25点組)	北海道立近代美術館	随時頁替え
	1 孔雀／2 かたつむり／3 あひる／4 蛙／5 蛇／6 鶏／7 かに／8 象／9 くも／10 白鳥／11 魚／12 ヤギ／13 こうもり／14 ふくろう／15 七面鳥／16 猫／17 ワニ／18 河馬／19 にわとり／20 亀／21 イモムシ／22 カラス／23 つばめ／24 傘をさすきのこ／25 だちょう					

24	フェルナン・レジェ	イリュミナシオン	1947	石版、彩色・紙(15点組)	北海道立近代美術館	
	1 ランボー／2 花／3 ファミリーソング／4 パッション 花／5 詩と裸婦／6 女と花／7 太陽と花と女と鳥					前期
	8 ゲニエ／9 詩 アンティック／10 詩 ブラーズ／11 建物／12 風景／13 パレード／14 物語／15 女たち					後期
25	アンドレ・ドラン	パンタグリュエル挿画集	1941～1943	木版・紙(42点組)	北海道立近代美術館	
	頁替え有。1－10／11－21(13を除く) 1 ヴィドゥグレン／2 グランググジェ／3 ガルガンチュア／4 バドベック／5 パンタグリュエル／6 無題／7 無題／8 無題／9 メッサジェ／10 無題 11 パニュルジュ／12 無題／14 無題／15 無題／16 プレドゥール／17 ラ・サンタンス／18 ル・シュプリス／19 無題／20 無題／21 無題					前期
	頁替え有。13、22－32／33－42 13 無題／22 トーマスト／23 無題／24 無題／25 無題／26 トゥール・ド・パニュルジュ／27 カルパラン／28 ラ・ダム・ド・パリ／29 無題／30 ウステーヌ／31 ラ・シャッス／32 無題 33 ル・トロフェ／34 無題／35 無題／36 無題／37 ヴィル・デ・ザモット／38 パンタグリュエリスト／39 無題／40 ル・メドゥサン／41 ル・ペルテュール／42 マルディ・グラ					後期
26	ベン・シャーン	リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには・・・	1968	石版・紙(24点組)	北海道立近代美術館	
	1－12 1 扉1／2 扉2／3 多くの都市を／4 多くの人々を／5 多くの事物を／6 禽獣を知らねばならぬ／7 飛ぶ鳥の姿／8 小さな草花のたたずまい／9 まだ知らぬ国々の道を／10 思いがけぬ邂逅／11 多くから近づいて来るのが見える別離／12 少年の日の思い出を					前期
	13－24 13 心を悲しませてしまった両親を／14 少年時代の病気を／15 静かなしんとした部屋で／16 海辺の朝／17 海そのものの姿／18 星くずとともに消え去った旅寝の夜々／19 愛にみちた多くの夜の回想／20 産婦の叫び／21 白衣の中に眠りおちて恢復をまつ産後の女／22 死んでゆく人の枕もと／23 死者の傍で／24 一遍の詩の最初の言葉					後期
Ⅳ章 ピカソとスペインの画家						
27	ジョアン・ミロ	『デリエール・ル・ミロワール Nos.125-126』よりタイトル不詳(1)	1961	石版・紙	北海道立近代美術館	前期
28	ジョアン・ミロ	『デリエール・ル・ミロワール Nos.125-126』よりタイトル不詳(2)	1961	石版・紙	北海道立近代美術館	前期
29	ジョアン・ミロ	『デリエール・ル・ミロワール №169』HAÏ-KU(ハイク)	1967	石版・紙	北海道立近代美術館	後期
30	ジョアン・ミロ	『デリエール・ル・ミロワール №169』FEMMES(ファム)	1967	石版・紙	北海道立近代美術館	後期
31	アントニ・クラーヴェ	クラーヴェ礼賛	1958	石版・紙(7点組)	北海道立近代美術館	
	1 フロントピース／2 鳥／3 赤と黒					前期
	4 王と王妃／5 口を開いた魚／6 鳥／7 奥付の絵					後期
32	サルバドール・ダリ	タイトル不詳(詩集のための挿画)	1916	木版・紙	北海道立近代美術館	前期
33	パブロ・ピカソ	A Los Toros avec Picasso (ア・ロス・トロス・アヴェク・ピカソ)	1961	石版・紙	北海道立近代美術館	後期
34	パブロ・ピカソ	メタモルフォーズ	1930～1931	エッチング・紙(30点組)	北海道立近代美術館	
	1－15 1 三人の男の顔／2 ドウカリオンとピュラ／3 横顔と女の顔／4 ファエトンの落下／5 顔／6 ジュピターとセメレの愛／7 三人の裸婦／8 ミニュアスの娘たち／9 四人の男の顔／10 アンドロメダのためのペルセとフィネの戦い／11 白布を持った裸婦と男／12 テレと彼の義理の姉妹フィロメールとの競技／13 座った四人の裸の男／14 あやまって妻プロクリスを殺したセファール／15 男とヴェールをかぶった女の顔					前期
	16－30 16 カルードンの猪を殺すメレアグル／17 頭の三つの部分／18 ケンタウル・ネスウスを殺すヘルキュール／19 逃走中の四人の女／20 蛇にかまれたエウリュディケ／21 座った女と馬／22 オルフェの死／23 三人の裸婦に見守られた二人の競技者／24 トロイ戦争について物語るネストル／25 二人の裸婦／26 アキレの墓の上で殺されたプリアムの娘ポリュクセネ／27 女の体の部分／28 ポモネに求愛するヴェルテュルネ／29 二人の女の顔／30 ピュタゴールの講義を聞くニューマ					後期
Ⅴ章 ［アートギャラリー北海道］ 荒井記念美術館とピカソ・コレクション						
35	パブロ・ピカソ	貧しい人々	1905	エッチング、紙	荒井記念美術館	通期
36	パブロ・ピカソ	化粧する母	1905	エッチング、紙	荒井記念美術館	通期
37	パブロ・ピカソ	水浴する三人の女	1922	エッチング、紙	荒井記念美術館	通期
38	パブロ・ピカソ	人物	1927	エッチング、紙	荒井記念美術館	通期
39	パブロ・ピカソ	黒い水差しと頭蓋骨	1946	石版、紙	荒井記念美術館	通期
40	パブロ・ピカソ	コンポジション	1948	石版、紙	荒井記念美術館	通期
41	パブロ・ピカソ	つないだ手Ⅱ	1952	石版、紙	荒井記念美術館	通期
42	パブロ・ピカソ	母親と子供たち	1953	エッチング、アクアチント、紙	荒井記念美術館	通期
43	パブロ・ピカソ	黒いバックの顔	1953	石版、紙	荒井記念美術館	通期
44	パブロ・ピカソ	ジャクリーヌの横顔	1957	石版、紙	荒井記念美術館	通期
45	パブロ・ピカソ	女の顔	1962	カラーリノカット、紙	荒井記念美術館	通期
46	パブロ・ピカソ	牧神の顔	1962	カラーリノカット、紙	荒井記念美術館	通期
47	パブロ・ピカソ	立つ裸婦	1963	カラーリノカット、紙	荒井記念美術館	通期
48	パブロ・ピカソ	仕事をする画家	1963	エッチング、紙	荒井記念美術館	通期

光と遊ぶ超体感型ミュージアム　魔法の美術館

会期：2021年7月17日（土）～9月26日（日）　　62日間
主催：北海道立函館美術館、北海道新聞社、「魔法の美術館」展
　　実行委員会
後援：函館市、函館市教育委員会、ＮＨＫ函館放送局、ＦＭいるか
協力：北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社
企画協力：ステップ・イースト

観覧者数：13,470名
観覧料：一般1,200(1,000)円、高大生700(500)円、中学生400(300)円
　　小学生以下無料（要保護者同伴）

ポスター(B2)／チラシ(A4)共通デザイン

最新のデジタル技術とアートの融合により実現した「見て」「参加して」「遊べる」新感覚の展覧会を函館で初開催。人の動きに合わせて、光や映像、音が変化する作品の創りだす美しくも不思議な空間で、大人も子どもも夢中になって遊べる魔法の世界が展開された。日本を代表する注目のアーティスト達が織り成す光と影のイリュージョンを通して、新しいアートの魅力を紹介する機会となり、13,470人の来場者を迎えた。

チケット

［関連事業］

■プレイベント

スタンプラリー　「魔法の美術館・テーリング」
日時：6月12日（土）～（スタンプカードがなくなり次第終了）
会場：函館市中央図書館、箱館奉行所、函館市芸術ホール・北洋資料館、五稜郭タワー、当館（参加無料）　　参加者数：294名

■会期中イベント

夏休みハコビ・アトリエ「フェナキスティ・スコープをつくろう！」
日時：7月24日（土）～8月15日（日）　9:30～16:30　参加者数：282名
会場：当館ホール(無料)

美術映画会
日時：7月17日（土）14:00～　入場者数：4名
「名画の秘密シリーズ③　ルネサンスの巨匠」（30分）
日時：8月21日（土）14:00～　入場者数：6名
「名画の秘密シリーズ④　ヴィーナスの舞い降りた街」（30分）

展示風景

出品目録

No.	作家名	作品名	材質・形状
1	坪倉輝明	七色小道	デジタル・インスタレーション
2	森脇裕之	光の波紋	デジタル・インスタレーション
3	徳井太郎/清水雄大	Shadow+	デジタル・インスタレーション
4	藤本直明	衝突と散乱	デジタル・インスタレーション
5	坪倉輝明	つくもがみ	デジタル・インスタレーション
6	岡田憲一＋冷水久仁江(LENS)	TRANSFORM	デジタル・インスタレーション
7	藤本直明	羽化する魚たち	デジタル・インスタレーション
8	藤本直明	Immersive Shadow	デジタル・インスタレーション
9	岡田憲一	Traces	デジタル・インスタレーション
10	緒方壽人(Takram)	SAKURA	デジタル・インスタレーション
11	Ponboks（本多大和）	メイト	デジタル・インスタレーション
12	本多大和/下田芳彦	toatope	デジタル・インスタレーション

北の抒情と幻想　国松登展

会期：2021年10月9日（土）～12月5日（日）　51日間
主催：北海道立函館美術館
共催：北海道新聞函館支社
後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、ＦＭいるか
協力：北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社
観覧者数：2,337名
観覧料：一般920（720）円、高大生610（410）円、小中学生300（200）円

ポスター（B2）／チラシ（A4）共通デザイン

函館出身の国松登(1907-1994)は、小樽、札幌を拠点として活躍した北海道を代表する画家のひとりである。雪原や流氷など、主に北国の風土を題材に、静寂の中にもどこか情感の漂う心象風景を描いた。偶然水族館で見た眼の潰れた魚に自らの姿を重ねて描いた「眼のない魚」や、根室の流氷から着想を得て約30年にわたり制作した「氷人」などのテーマで広く知られている。
本展では、これらを含め初期から晩年に至る代表作によって国松の歩みをたどるとともに、私淑していた三岸好太郎や、北海道独立美術協会に参加した同時代の画家の作品、国松が関心を寄せていた文学関係の資料もあわせて紹介した。

［関連事業］

●会期中のイベント

美術講演会「国松登ー父として、画家として」
日時：10月9日（土）11:00～(約60分)　聴講者数：24名
講師：國松明日香氏（彫刻家）
会場：当館講堂(聴講無料)

見どころ解説
日時：10月17日（日）14:00～(約30分)　聴講者数：4名
　　11月14日（日）14:00～(約30分)　聴講者数：16名
講師：当館学芸員
会場：当館講堂(聴講無料)

美術講座
日時：10月31日（日）14:00～(約60分)　聴講者数：5名
　　11月28日（日）14:00～(約60分)　聴講者数：12名
講師：石井紗輝（当館学芸員）
会場：当館講堂(聴講無料)

チケット

芸術週間等ハコビ・アトリエ「海のなかへようこそ！ステンドグラス風の飾りをつくろう」
期間：10月9日（土）～11月7日（日）9:30～16:30
会場：当館ホール（参加無料）　参加者数：28名

美術映画会
日時：10月16日（土）14:00～　入場者数：12名
「名画の秘密シリーズ⑥　オランダの光と影」(30分)
日時：11月20日（土）14:00～　入場者数：6名
「名画の秘密シリーズ⑦　世紀末からのメッセージ」(30分)
会場：当館講堂（入場無料）

展示風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作	材質・形状	寸法(縦×横cm)	所蔵先
Ⅰ章　出会いに導かれて						
1	国松登	早春	1931(昭和6)	油彩・ボード	23.7×32.8	北海道立近代美術館
2	国松登	小樽公園	1931(昭和6)	油彩・板	23.7×33.0	個人蔵
3	国松登	池	1932(昭和7)	油彩・キャンバス	72.8×91.0	北海道立近代美術館
4	国松登	夜	1935(昭和10)	油彩・キャンバス	24.3×33.4	個人蔵
5	国松登	LÉDA(ギリシア神話による)	1935(昭和10)	油彩・キャンバス	81.3×130.4	北海道立近代美術館
6	国松登	白馬	1935(昭和10)	油彩・キャンバス	130.3×162.1	市立小樽美術館
7	国松登	夕凪	1937(昭和12)	油彩・ボード	23.7×32.9	北海道立近代美術館
8		太地社目録	1930(昭和5)	冊子		北海道立近代美術館
北海道独立美術協会						
9	菊地精二	輪転機	1933(昭和8)	油彩・キャンバス	80.3×100.0	北海道立近代美術館
10	小山昇	摩周湖	1934(昭和9)	油彩・キャンバス	88.0×140.0	北海道立近代美術館
11	岡部文之助	摩周湖とペチュニア	1939(昭和14)	油彩・キャンバス	145.5×112.1	北海道立近代美術館
12	居串佳一	朝霧(北方)	1944(昭和19)	油彩・キャンバス	72.7×116.7	北海道立近代美術館
13	桐田頼三	古き庭園	1931(昭和6)	油彩・キャンバス	71.2×89.6	法人蔵
14	山本菊造	裁縫婦	1932(昭和7)	油彩・キャンバス	115.5×115.5	北海道立近代美術館
15	三岸好太郎	立てる道化	1932(昭和7)頃	油彩・キャンバス	130.5×80.8	北海道立三岸好太郎美術館
Ⅱ章　動乱のなかで						
16	国松登	カナリアと少女	1938(昭和13)	油彩・キャンバス	61.0×45.9	個人蔵
17	国松登	帝王苑	1939(昭和14)	油彩・キャンバス	23.8×33.1	個人蔵
18	国松登	ぶろんど	1940(昭和15)	油彩・キャンバス	90.8×65.3	北海道立近代美術館
19	国松登	寝園獣走	1940(昭和15)	油彩・キャンバス	116.7×91.0	北海道立近代美術館
20	国松登	アラベスクな風景	1941(昭和16)	油彩・キャンバス	116.8×91.0	北海道立近代美術館
21	国松登	叢	1942(昭和17)	油彩・キャンバス	116.8×91.4	北海道立近代美術館
22	国松登	一隅	1947(昭和22)	油彩・キャンバス	116.5×90.9	北海道立近代美術館
23	国松登	黄秋	1947(昭和22)	油彩・キャンバス	116.4×91.0	北海道立函館美術館
24	国松登	岩肌に竝ぶ	1948(昭和23)	油彩・キャンバス	116.7×90.9	北海道立近代美術館
25	国松登	遮陽	1948(昭和23)	油彩・キャンバス	116.4×91.9	北海道立近代美術館
26	国松登	従軍スケッチ(兵士像)	戦時中	水彩・紙	24.6×17.0	個人蔵
27	国松登	従軍スケッチ(千島慰問)	戦時中	水彩・紙	17.0×24.6	個人蔵
28	国松登	従軍スケッチ(鴉)	戦時中	水彩・紙	17.0×24.6	個人蔵
29	国松登	従軍スケッチ(軍艦)	戦時中	水彩・紙	17.0×24.6	個人蔵
30	国松登	従軍スケッチ(爺々岳)	戦時中	水彩・紙	17.0×24.6	個人蔵
31	国松登	画材		パレット、画材		個人蔵
32	国松登	スケッチ(曽宮一念との旅行)	1958(昭和33)	鉛筆・紙	12.4×17.4 12.4×18.0	個人蔵
Ⅲ章　沈黙と永い眠り						
33	国松登	白い距離	1950(昭和25)	油彩・キャンバス	116.8×91.0	北海道立近代美術館
34	国松登	阿寒帯―浮沈	1950(昭和25)	油彩・キャンバス	91.0×116.8	北海道立近代美術館
35	国松登	樹胎	1950(昭和25)	油彩・キャンバス	161.8×130.0	北海道立近代美術館
36	国松登	眼のない魚(B)	1950(昭和25)	油彩・キャンバス	91.0×73.0	北海道立函館美術館
37	国松登	雪野	1953(昭和28)	油彩・キャンバス	91.0×72.8	北海道立近代美術館
38	国松登	眼のない魚	1954(昭和29)	油彩・キャンバス	91.1×116.5	北海道立近代美術館
39	国松登	海の月	1954(昭和29)	油彩・キャンバス	90.9×60.6	北海道立近代美術館
40	国松登	夜(雪像)A	1958(昭和33)	油彩・キャンバス	91.2×117.2	北海道立近代美術館
41	国松登	夜(雪像)	1958(昭和33)	油彩・キャンバス	91.2×73.0	北海道立近代美術館
42	国松登	雪野(魚の碑)	1959(昭和34)	油彩・キャンバス	136.7×136.8	北海道立近代美術館
国松と文学						
43	国松登	短歌　短冊		墨・紙	36.0×6.0	市立小樽文学館
44		『新短歌時代』(小樽新短歌時代社)昭和5年7月号・9月号	1930(昭和5)	書籍		市立小樽文学館

45		『北方詩族』(北方詩族所) No.6,No.7,No.11	1939(昭和14)	書籍		函館市中央図書館
46	伊藤整	『祝福』(河出書房)	1940(昭和15)	書籍		個人蔵
47	村木雄一	凹體説	1959(昭和34)	書籍		個人蔵
48	村木雄一	カプリールな私生活	1964(昭和39)	書籍		個人蔵
49		舎木　齋藤三樹雄句集 (北海道俳句家連盟出版部)	1942(昭和17)	書籍		北海道立図書館
50		連続切片 創刊号・3号(鶴文庫)	1946(昭和21)	書籍		北海道立図書館
51		さっぽろまんてん 5巻9号(まんてん社)	1963(昭和38)	書籍		北海道立図書館
52		農家の友 23巻7号 (北海道農業改良普及協会)	1971(昭和46)	書籍		北海道立図書館
53		北方ジャーナル 4巻3号 (北方ジャーナル社)	1975(昭和50)	書籍		北海道立図書館
54		北方圏 28号(北方圏センター)	1979(昭和54)	書籍		北海道立図書館
55		北方文芸 15巻1号(北方文芸社)	1982(昭和57)	書籍		北海道立図書館
56	加藤多一	白いエプロン白いヤギ(偕成社)	1976(昭和51)	書籍		北海道立図書館
57	国松登	白いエプロン白いヤギ原画(16点組)		水彩・紙	12.0×19.0ほか	個人蔵
Ⅳ章　氷上のドラマ						
58	国松登	氷人B	1960(昭和35)	油彩・キャンバス	136.0×136.2	北海道立近代美術館
59	国松登	氷上のけものたち	1966(昭和41)	油彩・キャンバス	130.6×194.3	北海道立函館美術館
60	国松登	冬の旅	1969(昭和44)	油彩・キャンバス	194.2×130.8	北海道立近代美術館
61	国松登	氷人・冬樹	1974(昭和49)	油彩・キャンバス	130.3×162.1	北海道立近代美術館
62	国松登	氷人・天馬	1974(昭和49)	油彩・キャンバス	130.3×162.1	北海道立近代美術館
63	国松登	氷上の人	1975(昭和50)	油彩・キャンバス	129.9×162.7	北海道立近代美術館
64	国松登	氷上のけものたち	1982(昭和57)	油彩・キャンバス	193.8×130.2	北海道立函館美術館
65	国松登	氷上のひと	1984(昭和59)	油彩・キャンバス	130.6×162.4	北海道立近代美術館
66	国松登	氷人・倒影	1984(昭和59)	油彩・キャンバス	227.5×182.1	北海道立近代美術館
67	国松登	氷上のひと	1985(昭和60)	油彩・キャンバス	53.1×72.6	北海道立近代美術館
68	国松登	残月氷群	1985(昭和60)	油彩・キャンバス	227.4×182.0	北海道立近代美術館
69	国松登	倒影	1986(昭和61)	油彩・キャンバス	227.4×182.0	北海道立近代美術館
70	国松登	横切る人々	1988(昭和63)	油彩・キャンバス	227.5×181.8	北海道立近代美術館
エピローグ　そして氷は解ける						
71	国松登	星月夜	1991(平成3)	油彩・キャンバス	162.0×162.0	北海道立近代美術館
72	国松登	星月夜	1992(平成4)	油彩・キャンバス	162.0×162.0	北海道立近代美術館
73	国松登	黄昏(スケッチ)	1994(平成6)	鉛筆・紙	46.0×39.0	個人蔵
74	国松登	黄昏	1994(平成6)	油彩・キャンバス	162.0×162.0	北海道立近代美術館
75		国松登　氷人を追って	1985(昭和60)	映像		北海道立近代美術館

アートのみかた、カギはここにあり。　美術をまるごと楽しもう！

会期：2021年12月25日（土）～2022年4月10日（日）　78日間
主催：北海道立函館美術館
共催：北海道新聞函館支社
後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいるか
協力：北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社、函館美術館ボランティアいちいの会
観覧者数：2,047名
観覧料：一般510（410）円、高大生300（200）円、65歳以上および中学生以下無料

ポスター（B2）/チラシ（A4）共通デザイン

函館美術館所蔵の油彩画、日本画、版画、書、工芸などを通して、美術鑑賞のツボや作品の楽しみ方を、さまざまな角度からわかりやすく紹介する展覧会。技法による効果や軸、屏風といった表具が作品にもたらす効果を作品と共に紹介した。
本展では、70点の作品に加えて、画材や学芸員が展示作業の際に使用する道具などの資料をあわせて展示した。
通常の展示では見逃されがちな作品制作の裏側や普段とは異なる作品鑑賞のポイントなどを提示することで、所蔵作品をさまざまな角度から堪能する機会となった。

［関連事業］

見どころ解説（＊ギャラリー・ツアーから変更）

日時：2022年1月8日(土)14:00～14:30　聴講者数：12名
1月22日(土)14:00～14:30　聴講者数：10名
2月26日(土)14:00～14:30　聴講者数：10名
3月12日(土)14:00～14:30　聴講者数：5名
講師：当館学芸員
会場：当館講堂(聴講無料)

チケット

美術講座

日時：2月12日(土)14:00～15:00　聴講者数：6名
3月5日(土)14:00～15:00　聴講者数：7名
講師：当館学芸員
会場：当館講堂(聴講無料)

美術映画会

日時：1月15日(土) 14:00～14:30　入場者数：6名
「名画の秘密シリーズ」⑧宿命の女とラファエル前派(約30分)
日時：2月19日(土) 14:00～14:30　入場者数：8名
「名画の秘密シリーズ」⑨北の画家　神秘の世界(約30分)
日時：3月19日(土) 14:00～14:30　入場者数：21名
「名画の秘密シリーズ」⑩浮世絵とジャポニズム(約30分)
会場：当館講堂（入場無料）

展示風景

冬休みハコビ・アトリエ「私だけのミュージアムノートを作ろう！」

期間：12月25日(土)～2022年1月16日(日) 9:30～16:30
会場：当館ホール（参加無料）　参加者数：39名

ハコビ･マジカル･ワークショップ「セピア・プリントに挑戦！」

日時：2月5日(土) 13:30～16:00
講師：平方亮三氏（版画家）
会場：当館特別展示室、常設展示室、講堂　参加者数：5名（募集制）

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(平面:縦×横、立体:奥行×幅×高さcm)	所蔵
イントロダクション　あなたの好みはどちら？						
1		三彩虎形水滴	宋代	陶磁	8.0×5.0×6.0	
2		白磁染付獅子水滴	19世紀(李朝)	陶磁	16.0×9.0×10.0	
3	炭　光任	蛾と蝶	1965～74頃 (昭和40年代)	絹本彩色	50.0×40.0	
4	橋本三郎	蝶	1969(昭和44)	油彩・キャンバス	46.0×53.5	
STEP 1　作品が先か？キャプションが先か？						
5	木田金次郎	漁村放牧	1961(昭和36)	油彩・キャンバス	65.1×80.3	
6	上村淳之	冬日	不詳	紙本彩色・額	38.0×45.0	
7＊	北大路魯山人	緑釉鉢	不詳	陶磁	21.0×21.0×9.0	
STEP 2　何で表現しているのだろう？						
8	ハンス・アルトゥング	H.18-1973	1973	木版・紙	65.5×50.5	
9	ハンス・アルトゥング	L.48-1973	1973	リトグラフ・紙	76.0×105.6	
10	ハンス・アルトゥング	無題	不詳	銅板・紙	50.5×39.8	
11	平方亮三	作品65－A	1965(昭和40)	木版・紙	54.5×44.0	
12	前田政雄	椿	1935(昭和10)	木版・紙	34.6×26.3	
資料	前田政雄　版木数種					
13	野田九浦	香妃出猟	1948(昭和23)	絹本彩色	144.5×55.6	
14	炭　光任	ひまわり	1965～74頃 (昭和40年代)	紙本彩色	50.0×40.0	
資料	日本画画材　顔料見本、鉱物					市立函館博物館
15＊	田辺三重松	ポプラの道	1942(昭和17)	油彩・キャンバス	116.7×90.9	
16	長谷川潾二郎	［兎］	1930(昭和5)	油彩・キャンバス	31.5×40.2	
資料	油彩画画材　田辺三重松のパレット・絵具箱・絵筆					市立函館博物館
17	松本春子	万葉集　志貴皇子の詩	1970年代後半	墨・紙	27.2×24.2	
18＊	金子鷗亭	山村暮鳥詩　風景-純銀もざいく(いちめんのなのはな)	1958(昭和33)	墨・紙	32.0×69.0	
19	比田井南谷	作品63-11	1963(昭和38)	墨・紙	124.0×92.0	
資料	書道具					個人蔵
20	小寺真知子	ヘルモアフロディーテ	1996(平成8)	大理石	34.0×41.0×51.0	
21	西田明史	清流	1975(昭和50)	木	24.0×10.0×15.5	
22	清水多嘉示	女の座像	1969(昭和44)	ブロンズ	12.0×13.0×42.0	
STEP 3　何をどう表現しているのだろう？						
23	ヴァシリー・イヴァーノヴィチ・スーリコフ	女子修道院を訪れる皇女	1912	油彩・キャンバス	92.0×132.5	
24	工藤三郎	船員	1920～23(大正9～12)	油彩・キャンバス	80.0×64.2	
25	鵜川五郎	自画像	1949(昭和24)	油彩・キャンバス	60.6×50.0	
26	岩田治子	静物(モモ)	1989(平成元)	油彩・キャンバス	90.9×72.7	
27	長谷川潾二郎	［アイスクリーム］	1981(昭和56)頃	油彩・キャンバス	24.5×41.0	
28	蛯子善悦	白い港(ノルマンディ)	1987(昭和62)	油彩・キャンバス	112.1×135.5	
29	田辺三重松	駒ケ岳	不詳	油彩・キャンバス	48.5×59.5	
30	岩船修三	樹	1970(昭和45)	油彩・キャンバス	130.3×162.0	
31	橋本三郎	ツカマレタ鶏	1952(昭和27)	油彩・キャンバス	72.7×90.9	
32	三箇三郎	作品K	1960(昭和35)	油彩、石膏・板	154.7×115.8	
STEP 4　波響先生に学ぶ、和の美術の「かたち」						
33	作者不詳	架鷹図屏風	江戸末期	押し絵貼り、紙本彩色・屏風(六曲一双)	各扇130.0×47.0	
34	蠣崎波響	唐美人図	1804(文化元)	紙本淡彩	125.5×57.7	
35	蠣崎波響	瑞鶴祥雛(愛子鶴図)	1826(文政9)	絹本彩色	98.0×34.0	
36	蠣崎波響	京洛十二ヶ月図画巻	1819(文政2)	紙本彩色	26.3×1011.0	
37	蠣崎波響	桜花図(岡本花亭詩書)	詩:1833(天保4)	紙本淡彩、墨書	58.6×53.3(画) 43.0×53.3(詩)	
38	蠣崎波響	楊貴妃図	不詳	絹本彩色	96.5×36.0	
39	蠣崎波響	名鷹図	1815(文化12)	絹本彩色	100.4×43.8	
40		八星硯	不詳	石	16.0×19.3×2.7	
41		馬肝色翔龍長方硯	宋代	石	13.9×23.3×8.0	
42		歙州眉子紋硯	不詳	石	10.8×18.9×3.0	
43		白磁百足円硯	唐代	陶磁	20.5×20.5×7.0	
44		大西洞硯板	明代	石	15.8×23.5×4.8	
45		馬肝色太史式蜘龍硯	宋代	石	18.0×25.8×7.1	

46		青磁鴨形水滴	14世紀(高麗)	陶磁	12.0×2.5×6.0
47		琥珀人物形筆架	清代	琥珀	7.0×4.0×7.5
48		白玉芭蕉筆洗	清代	玉	15.5×8.5×5.0
49		五彩水滴	清代	陶磁	11.0×6.0×7.5
50		五彩水滴	清代	陶磁	11.0×4.0×8.5
51		白磁染付山水水滴	18世紀(李朝)	陶磁	8.5×8.5×3.0
52		白磁環形水滴	李朝	陶磁	12.5×13.0×3.0
53		蕎麦釉水滴	清代	陶磁	9.0×5.0×5.0
54		青白磁仙者形水滴	李朝	陶磁	5.0×10.0×6.0
55		龍首水滴	清代	金工	13.0×6.5×7.5
56		黒地掻落壺	宋代	陶磁	28.5×28.5×24.0
資料　学芸員の七つ道具					
STEP 5　現代アートもこわくない！					
57	前田守一	あらっ！	1968(昭和43)	ビニール・合板	90.0×90.0×10.0
58	三島喜美代	NEWS PAPER F-87	1987(昭和62)	陶磁	130.0×98.0×98.0
59	岡沼淳一	Mountain Stream	2018(平成30)	木(ニレ埋もれ木)	400.0×40.0×132.0
60	荒木高子	砂の聖書	1985(昭和60)	シャモット	57.0×33.3×14.0
61	荒木高子	岩の聖書	1987(昭和62)	シャモット	63.0×46.0×15.0
62	アンリ・ミショー	無題　K352	1968	油彩・キャンバス	46.0×55.0
63	アンリ・ミショー	無題　MP1196	1974	油彩・キャンバス	39.5×52.0
64	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープⅡ	1969	シルク・スクリーン（10点組）	各88.9×58.4
STEP 6　自己流でも楽しんでみよう！					
65＊	横山松三郎	菊	不詳	油彩・絹	45.5×30.4
66	早瀬龍江	交差	1952(昭和27)	油彩・キャンバス	65.0×91.0
67	池谷寅一	元町の春	1975(昭和50)	油彩・キャンバス	116.7×90.0
68	歌川国貞（三代豊国）	見立三十六歌撰之内　藤原敏行朝臣[累の亡霊]	1852(嘉永5)	木版・紙	大判錦絵
69	北條玉洞	鶏朝顔図	不詳	紙本彩色	113.2×41.9
70	平林　薫	五十一音―箱	1985(昭和60)	杉板、ベニヤ板、紙粘土ほか（51点組）	各50.0×50.0×20.5

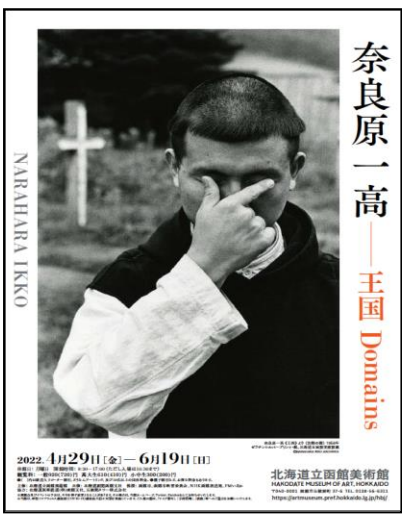
作品№に＊のついているものは、函館市寄託。その他は全て当館所蔵。

奈良原一高―王国 Domains

会期：2022年4月29日（金）～6月19日（日）　45日間
主催：北海道立函館美術館
共催：北海道新聞函館支社
後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいるか
協力：北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社

観覧者数：2,462名
観覧料：一般920(720)円、高大生610(410)円、小中生300(200)円

奈良原一高(1931-2020)は、戦後日本を代表する写真家の一人。大学院在学中に開催した初個展「人間の土地」(1956年)で、緻密な構図による独特の映像美をたたえた作品がリアリズム写真を主流とする当時の写真界で話題となり、一躍注目を集める存在となった。59年には川田喜久治、細江英公ら写真家6人で共同エージェンシー「VIVO」を結成。戦後の新しい写真表現をきりひらく先駆けとして活躍。
《王国》は、2回目の個展で発表された作品。北斗市のトラピスト修道院を取材した〈沈黙の園〉と、和歌山の女子刑務所を写した〈壁の中〉の2部構成によるモノクロ写真である。これにより奈良原は、日本写真批評家協会賞新人賞を受賞。写真家としての評価を確立した。
本展は、遺族から当館に寄贈された146点に、未掲載作品等24点を加えた170点により構成。奈良原の代表作の一つである《王国》の深い精神性をたたえた世界を紹介し、好評を博した。



ポスター(B2)／チラシ(A4)共通デザイン

［関連事業］

ミュージアム・トーク「奈良原一高　世に出る」
日時：5月21日(土)14:00～(約60分)　聴講者数：30名
講師：西野鷹志氏(ライター＆フォトグラファー)
会場：当館講堂(聴講無料)

見どころ解説
日時：5月28日(土)14:00～14:30　聴講者数：14名
　　6月18日(土)14:00～14:30　聴講者数：14名
講師：当館学芸員
会場：当館講堂(聴講無料)

美術映画会
日時：5月15日(日) 14:00～　入場者数：17名
「世界の名画」謎の画家・フェルメール(約48分)
日時：6月19日(日) 14:00～　入場者数：8名
「世界の名画」農民を描いた反骨の画家・ミレー(約48分)

チケット

展示風景

出品目録

No.	題名	撮影年	技法	『王国 Domains』(2019)における掲載
1	セルフポートレート (トラピスト修道院にて)	1958年	ラムダバライタプリント	未掲載
2 – 120	〈沈黙の園〉	1958年	ゼラチンシルバープリント※1	※2
121 – 170	〈壁の中〉	1958年	ゼラチンシルバープリント※3	※4

※1:次の作品はラムダバライタプリント。

出品番号5, 11-12, 15, 19, 23, 26, 36-37, 50, 62, 72, 76, 86, 108, 116, 118, 120

※2:次の作品は未掲載作品。

出品番号5, 11-12, 19, 23-24, 26-27, 34-37, 50, 53, 62, 65, 72, 77-78, 82, 85-86, 88-89, 95, 111, 114-116, 120

※3:次の作品はラムダバライタプリント。出品番号134, 138, 142, 150-151, 162

※4:次の作品は未掲載作品。出品番号135, 145, 164

令和4年度特別展

笠間日動美術館コレクション　魅惑の西洋近代絵画　モネ、ルノワールからピカソ、マティスまで

会期：2022年7月16日（土）～9月25日（日）　62日間
主催：北海道立函館美術館、北海道新聞社、魅惑の西洋近代絵画実行委員会
後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、ＦＭいるか
協力：北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社
特別協力：公益財団法人日動美術財団　笠間日動美術館

観覧者数：11,721名
観覧料：一般1,200（1,000）円、高大生700（500）円、中学生400（300）円、小学生以下無料（要保護者同伴）

ポスター(B2)、チラシ（A4）共通デザイン

19世紀から20世紀にかけて、フランスを中心とする美術界では、自然の再現のみならず、人間性を重視した作家の個性を生かす表現が次々と生まれ、その後の芸術の行方を大きくきりひらいた。パリには新しい表現を求めて世界中から芸術家が集まり、エコール・ド・パリと呼ばれるとともに、さまざまな芸術が生まれた。
本展は、茨城県笠間市の笠間日動美術館の西洋絵画コレクションより、この時代を代表する画家たちの作品を選りすぐり紹介したもの。印象派からエコール・ド・パリまでのフランス近代絵画の魅力を、幅広い年齢層の観覧者11,721人が味わった。

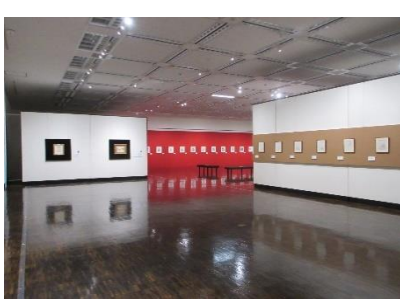
［関連事業］

オープニング記念講演会
日時：7月16日（土）11:00～（約60分）　聴講者数：25名
講師：長谷川徳七氏（笠間日動美術館長、日動画廊社長）、長谷川智恵子氏（笠間日動美術館副館長、日動画廊副社長）
会場：当館講堂（聴講無料）

見どころ解説
日時：7月30日（土）14:00～14:30　聴講者数：11名
8月20日（土）14:00～14:30　聴講者数：15名
9月3日（土）14:00～14:30　聴講者数：10名
9月17日（土）14:00～14:30　聴講者数：　9名
講師：当館学芸員
会場：当館講堂（聴講無料）

チケット

美術映画会
日時：7月17日（日）14:00～　入場者数：22名
「世界の名画」マネの革命　絵画を解き放った男（約48分）
日時：8月21日（日）14:00～　入場者数：6名
「世界の名画」モネ・光と色彩の冒険（約48分）
日時：9月18日（日）14:00～　入場者数：18名
「世界の名画」幸せの画家　ルノワールの挑戦（約48分）
会場：当館講堂（聴講無料）


展示風景

夏休みハコビ・アトリエ「マティスなうちわを作ろう！」
日時：7月23日（土）～8月21日（日）　9:30～16:30　参加者数：297名
会場：当館ホール（無料）

ハコビ・マジカル・ワークショップ「マティスに学ぶ切り絵～デザインボックスづくり」
日時：8月6日（土）13:00～16:00
講師：当館学芸員
会場：当館特別展示室、常設展示室、講堂　参加者数：20名（募集制）

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵
1	クロード・モネ	ヴェトゥイユ、水びたしの草原	1881	油彩・カンヴァス	笠間日動美術館
2	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	泉のそばの少女	1887	油彩・カンヴァス	笠間日動美術館
3	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	西洋かりんの木	1908	油彩・カンヴァス	笠間日動美術館
4	ポール・セザンヌ	聖アントニウスの誘惑	1874頃	油彩・カンヴァス	笠間日動美術館
5	オディロン・ルドン	横顔の女（左向きの）	1900頃	パステル・紙	笠間日動美術館
6	ピエール・ボナール	室内の裸婦	1912頃	油彩・カンヴァス	笠間日動美術館
7	アンリ・マティス	《赤い室内の緑の少女》のための習作	1947	墨・紙	笠間日動美術館
8	アンリ・マティス	窓辺にすわる女	1919～20頃	油彩・カンヴァス	笠間日動美術館
9	アンリ・マティス	ジャズ(20点組)	1947	ステンシル・紙	笠間日動美術館
10	アルベール・マルケ	ボートのある風景		油彩・カンヴァス	笠間日動美術館
11	ラウル・デュフィ	アスコットの観覧席前のパドック	1931	水彩・紙	笠間日動美術館
12	キース・ヴァン・ドンゲン	赤いターバンの女		水彩・紙	笠間日動美術館
13	ジョルジュ・ルオー	ピエロと小さな踊り子		油彩・カンヴァス	笠間日動美術館
14	マルク・シャガール	ポエム(24点組)	1962～68	木版、コラージュ・紙	笠間日動美術館
15	マルク・シャガール	花束とカップル	1969頃	油彩・カンヴァス	笠間日動美術館
16	パブロ・ピカソ	女の顔	1901	油彩・厚紙	笠間日動美術館
17	シャイム・スーチン	カーニュの道	1922～23頃	油彩・カンヴァス	笠間日動美術館
18	マリー・ローランサン	ばら色の帽子の女	1929頃	油彩・カンヴァス	笠間日動美術館
19	モーリス・ユトリロ	プール＝レ＝ゼシャルモ（ローヌ）	1934	油彩・カンヴァス	笠間日動美術館
20	モーリス・ユトリロ	パレット	1933頃	油彩・板	笠間日動美術館
21	ジュール・パスキン	若いムラート	1927	油彩・カンヴァス	笠間日動美術館
22	藤田　嗣治	レスコニルの家	1950	油彩・カンヴァス	笠間日動美術館
23	藤田　嗣治	母子	1950	インク・紙	笠間日動美術館
24	藤田　嗣治	御遠足(31点組)	1927	エッチング、水彩・紙	笠間日動美術館

詩文書の魅力　金子鷗亭と中野北溟

会期：2022年10月8日（土）～12月4日（日）　51日間
主催：北海道立函館美術館
共催：北海道新聞函館支社、毎日新聞北海道支社
後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、ＦＭいるか
協賛：公益社団法人創玄書道会
協力：北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社、函館美術館ボランティアいちいの会
特別協力：羽幌町立中央公民館（書の北溟記念室）
観覧者数：2,948名
観覧料：一般920（720）円、高大生610（410）円、小中学生300（200）円

ポスター（B2）／チラシ（A4）共通デザイン

松前町生まれの金子鷗亭は、1929年に札幌で比田井天来と出会い、上京。天来の下で古典の学習に励み、新しい書の在り方を追究し、戦後、毎日書道展の創設に参画、同展で自らの提唱する「近代詩文書」を独立した部門として発展させるなど、現代書の振興に大きな役割を果たした。
一方、中野北溟は羽幌町焼尻島生まれ。北海道第三師範学校（現・北海道教育大学旭川校）に学び、中学校で教鞭をとるかたわら鷗亭に師事し、研鑽を積んだ。鷗亭の思想を継承しながら、詩文書を中心に精力的な制作を続け独自の表現を創り上げ、国内外から高い評価を得てきた。
本展は、現代書の魅力を紹介すると同時に、道内のミュージアムが連携する「アートギャラリー北海道」事業の一環として、連携館の一つである羽幌町の「羽幌町立中央公民館（書の北溟記念室）」の所蔵品も展示した。

［関連事業］

●会期中のイベント

美術講演会「鷗亭と北溟、書を未来へつなぐ。」
日時：10月29日（土）14:00～（約90分）　聴講者数：24名
講師：齊藤千鶴子氏（北海道立帯広美術館学芸課長）
会場：当館講堂（聴講無料）

見どころ解説
日時：10月22日（土）14:00～（約30分）　聴講者数：10名
　　11月23日（水・祝）14:00～（約30分）　聴講者数：15名
講師：当館学芸員
会場：当館講堂（聴講無料）

美術講座「鷗亭記念室と詩文書」
日時：11月19日（日）14:00～（約90分）　聴講者数：19名
講師：関口千代絵（当館主任学芸員）
会場：当館講堂（聴講無料）

チケット

美術講座「書をみる楽しみ～鑑賞入門」
日時：12月1日（木）18:00～（約60分）　聴講者数：14名
講師：関口千代絵（当館主任学芸員）
会場：当館講堂、特別展示室（要観覧券）

芸術週間等ハコビ・アトリエ「詩文書に挑戦！体験コーナー」
期間：11月1日（火）～12月4日（日）9:30～16:30
会場：当館ホール（参加無料）　参加者数：61名

展示風景

美術映画会
日時：10月16日（日）14:00～　入場者数：8名
「世界の名画　印象派・新たな冒険　ドガ＆ピサロ」（48分）
日時：11月20日（日）14:00～　入場者数：16名
「世界の名画　ゴッホ・青く揺らめく炎」（48分）
会場：当館講堂（入場無料）

出品目録

No.	作家名	作品名	制作	材質・形状	寸法(縦×横cm)	所蔵先
1 詩文書の開拓者として						
1	金子 鷗亭	北原白秋詩 海雀	1952(昭和27)	墨・紙	67.5×132.5	函館市蔵(当館受託)
2	金子 鷗亭	北原白秋詩 白金の独楽	1952(昭和27)	墨・紙	66.2×131.7	函館市蔵(当館受託)
3	金子 鷗亭	小野十三郎詩 断崖	1955(昭和30)	墨・紙	68.0×134.5	函館市蔵(当館受託)
4	金子 鷗亭	田中冬二詩 冴えた冬の夜	1956(昭和31)	墨・紙	32.0×35.0	函館市蔵(当館受託)
5	金子 鷗亭	北川冬彦詩 瞰下景	1959(昭和34)	墨・紙	10.5×15.5	函館市蔵(当館受託)
6	金子 鷗亭	宮沢賢治詩 作品第七十五番之一 浮世絵 北上山地の春(囲炉裏)	1964(昭和39)	墨・紙	107.5×77.0	函館市蔵(当館受託)
7	金子 鷗亭	自詠 見あぐれば	1975(昭和50)	墨・紙	56.5×120.0	函館市蔵(当館受託)
8	金子 鷗亭	高村光太郎詩 金秤	1976(昭和51)	墨・紙	89.0×126.0	函館市蔵(当館受託)
9	金子 鷗亭	松尾芭蕉 奥の細道	1976(昭和51)	墨・紙	72.4×175.7	函館市蔵(当館受託)
2 北海道への思い						
10	金子 鷗亭	自作句 漂渺の	1978(昭和53)	墨・紙	61.0×143.0	函館市蔵(当館受託)
11	金子 鷗亭	石川啄木歌二首 潮かをる／函館の	1981(昭和56)	墨・紙	各138.0×33.0	当館蔵
12	金子 鷗亭	北原白秋詩 曇り日のオホーツク海	1987(昭和62)	墨・紙	各138.0×51.0 屏風寸各172.0×266.0	当館蔵
13	金子 鷗亭	自詠 幾萬億	1993(平成5)	墨・紙	178.5×76.5	当館蔵
14	金子 鷗亭	自詠 仰向ける	1989(平成元)	墨・紙	179.0×77.0	当館蔵
15	金子 鷗亭	自作句 杈構へ	1996(平成8)	墨・紙	53.5×136.4	当館蔵
3 詩との共鳴						
16	金子 鷗亭	萩原朔太郎詩 竹	1979(昭和54)	墨・紙	102.5×264.0	函館市蔵(当館受託)
17	金子 鷗亭	川端文学燦文集「浅草紅團」より 彼女の瞼のあげさげは…	1981(昭和56)	墨・紙	33.0×42.0	函館市蔵(当館受託)
18	金子 鷗亭	川端文学燦文集「千羽鶴」より 風爐や釜の鐵の…	1981(昭和56)	墨・紙	33.5×41.0	函館市蔵(当館受託)
19	金子 鷗亭	川端文学燦文集「片腕」より 霧雨を空中に…	1981(昭和56)	墨・紙	30.0×37.0	函館市蔵(当館受託)
20	金子 鷗亭	川端文学燦文集「雪國」より 村はしいんと…	1989(平成元)	墨・紙	27.0×34.0	当館蔵
21	金子 鷗亭	草野心平詩 蛙	1988(昭和63)	墨・紙	各35.0×37.5、16.5×65.0、35.0×46.5／額寸168.0×168.0	当館蔵
22	金子 鷗亭	宮沢賢治詩 雨ニモマケズ	1987(昭和62)	墨・紙	各151.5×249.0	当館蔵
23	金子 鷗亭	井上靖詩 交脚弥勒	1986(昭和61)	墨・紙	137.5×399.0	当館蔵
24	金子 鷗亭	北原白秋詩 からまつ	1991(平成3)	墨・紙	116.7×90.9	当館蔵
25	金子 鷗亭	寛明	2001(平成13)	墨・紙	116.4×91.9	当館蔵
トピック:ふたりの「臨書・漢字」						
26	金子 鷗亭	陶淵明詩 桃花源記	1940(昭和15)	墨・紙	137.5×399.0cm	函館市蔵(当館受託)
27	金子 鷗亭	臨書 小子敦	1981～85(昭和56～60年)	墨・紙	138.0×34.0	当館蔵
28	金子 鷗亭	臨書 爨龍顔碑	1981～85(昭和56～60年)	墨・紙	138.0×34.0	当館蔵
29	金子 鷗亭	臨書 秋萩帖	1981～85(昭和56～60年)	墨・紙	138.0×34.0	当館蔵
30	中野 北溟	臨書 九成宮醴泉銘	2011(平成23)	墨・紙	各180.0×95.0(二枚組)	作家蔵
31	中野 北溟	臨書 山ノ上碑	2006(平成18)	墨・紙	各137.0×70.0(二枚組)	作家蔵
32	中野 北溟	臨書 爨龍顔碑	2009(平成21)	墨・紙	各180.0×95.0(二枚組)	作家蔵
33	中野 北溟	玄中玄	1999(平成11)	墨・紙	各136×70	作家蔵
4 詩文書の挑戦者						
34	中野 北溟	空夜窓閑深更軒白	1936(昭和11)	墨・紙	33.3×24.2	作家蔵
35	中野 北溟	也魏建安中分	1948(昭和23)	墨・紙	33.3×24.2	作家蔵
36	中野 北溟	草野心平詩 「富士山作品第拾陸」より	1961(昭和36)	墨・紙	131.0×271.5	作家蔵
37	中野 北溟	草野心平詩 「富士山作品第拾 久」より	1962(昭和37)	墨・紙	139.7×138.0	羽幌町(書の北溟記念室)蔵
38	中野 北溟	宮沢賢治詩 雨ニモマケズ	1981(昭和56)	墨・紙	75.5×74.0	羽幌町(書の北溟記念室)蔵
39	中野 北溟	北原白秋詩 落葉松	不詳	墨・紙	68.7×159.2	羽幌町(書の北溟記念室)蔵
40	中野 北溟	よろこび	1989(平成元)	墨・紙	162×44.5	作家蔵

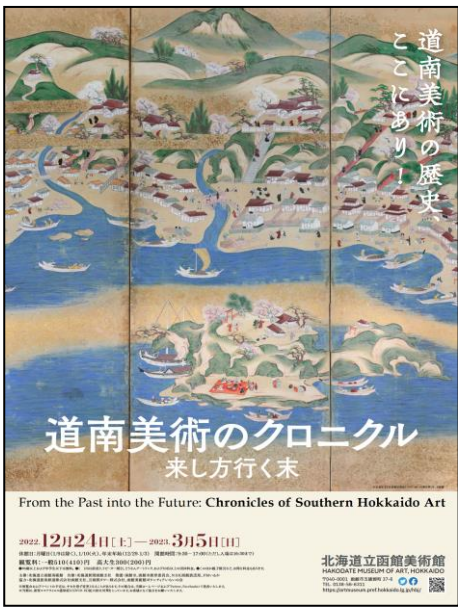
41	中野 北溟	八木重吉詩　光	1990(平成2)	墨・紙	82.0×152.0	作家蔵
42	中野 北溟	神様　あなたに会いたくなった(八木重吉詩　無題)	1988(昭和63)	墨・紙	135.0×69.0	作家蔵
43	中野 北溟	先生の手にほうたいがまいてあった…	1991(平成3)	墨・紙	69.5×136.0	羽幌町(書の北溟記念室)蔵
44	中野 北溟	ほほえみ	1994(平成6)	墨・紙	134.7×134.6	羽幌町(書の北溟記念室)蔵
5　ふるさと　海						
45	中野 北溟	一	1961(昭和36)	墨・紙	85.0×147.0	個人蔵
46	中野 北溟	私の海	2005(平成17)	墨・紙	10点組 各 180.0×90.0	羽幌町(書の北溟記念室)蔵
47	中野 北溟	原子修詩　海	2005(平成17)	墨・紙	136.0×105.0	羽幌町(書の北溟記念室)蔵
48	中野 北溟	直ちに海に向かわず天を指す	2002(平成14)	墨・紙	147.9×69.5	羽幌町(書の北溟記念室)蔵
49	中野 北溟	朔北は茫茫の海	1998(平成10)	墨・紙	各178.5×96.0 (四枚組)	作家蔵
50	中野 北溟	原田康子詩　ふるさと(海)	1983(昭和58)	墨・紙	69.0×78.4	当館蔵
6　心を燃やすイメージ						
51	中野 北溟	雪華	2008(平成20)	墨・紙	各131×68(二枚組)	作家蔵
52	中野 北溟	舞	2015(平成27)	墨・紙	86.5×116.5	作家蔵
53	中野 北溟	一瞬の風	1991(平成3)	墨・紙	136.7×136.7	羽幌町(書の北溟記念室)蔵
54	中野 北溟	源鬼彦　空へ	2018(平成30)	墨・紙	133.0×104.0	作家蔵
55	中野 北溟	刻む	2018(平成30)	墨・紙	88.0×177.0	作家蔵
56	中野 北溟	天行健	2022(令和4)	墨・紙	各137×70	作家蔵
57	中野 北溟	原子修詩　原郷創造　北の大いなる島	2009(平成21)	墨・紙	180×91×6	作家蔵
特別展示(ロビー)						
58	中野 北溟	函館ステップ	不詳	墨・紙	86.0×86.0	函館市芸術ホール
59	中野 北溟	北の大地	不詳	墨・紙	103.5×34.0	函館美術館・資料

来し方行く末　道南美術のクロニクル

会期：2022年12月24日（土）～2023年3月5日（日）　57日間
主催：北海道立函館美術館
共催：北海道新聞函館支社
後援：函館市、函館市教育委員会、ＮＨＫ函館放送局、ＦＭいるか
協力：北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社、函館美術館ボランティアいちいの会

観覧者数：2,408名
観覧料：一般510(410)円、高大生300(200)円、65歳以上及び中学生以下無料

当館所蔵作品を中心に、江戸期から現代にいたる道南美術の歴史をふりかえった。異色の日本画家・小玉貞良、蠣崎波響ら道南近世絵画の魅力、明治期美術教育に尽力した北條玉洞とその弟子たち、道内最古の公募団体・赤光社を中心とした道南画壇の歩み、道南美術と戦争、道南ゆかりの現代作家たちの活躍など、多彩なトピックにより紹介。
本展では当館所蔵作品および資料を中心とした54作家83点により、この地域がはぐくんできた美術の精華を紹介した。また、展覧会内容をSNSや新聞等で発信したことで、地元の方を含め、多くの方々の関心を集め、来場者は2,408人に達した。



ポスター(B2)／チラシ(A4)共通デザイン

［関連事業］

見どころ解説
日時：12月24日(土) 14:00～(約30分)　聴講者数：11名
　　1月21日(土) 14:00～(約30分)　聴講者数：10名
講師：当館学芸員

特別講演会「近世道南美術の魅力」
日時：1月28日(土) 14:00～(約60分)　聴講者数：32名
講師：五十嵐聡美氏（北海道立近代美術館学芸部長）
会場：当館講堂

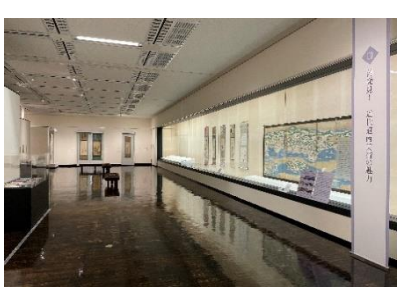
美術講座「近世道南美術の黎明―赤光社を中心に―」
日時：2月4日(土) 14:00～(約60分)　聴講者数：26名
講師：田村允英（当館学芸員）
会場：当館講堂

美術講座「戦時下の道南画壇-危機の時代と美術-」
日時：2月18日(土) 14:00～(約60分)　聴講者数：18名
講師：田村允英（当館学芸員）
会場：当館講堂

特別講演会「戦後道南美術の展開」
日時：3月4日(土) 14:00～(約60分)　聴講者数：35名
講師：大下智一氏（北海道立近代美術館リサーチ推進課長）
会場：当館講堂

美術映画会
日時：1月15日(日) 14:00～　入場者数：8名
「世界の名画　りんごが世界を変えた・20世紀絵画の父セザンヌ」(48分)
日時：2月19日(日) 14:00～　入場者数：5名
「世界の名画　アルビの昼と夜・素顔のロートレック」(48分)
日時：3月19日(日) 14:00～　入場者数：8名
「世界の名画　天才レオナルド・ダ・ヴィンチの秘密」(48分)

チケット


展示風景

会場: 当館講堂（入場無料）

冬休みハコビ・アトリエ「オリジナル・ミニ屏風を作ろう！」
日時: 12月24日(土)～2023年1月15日（日）　9:30～16:30　　参加者数: 25名
会場: 当館ホール(無料)

ハコビ･マジカル･ワークショップ「うさぎ年だもの！潾二郎の うさぎをつくろう！」
日時: 1月14日(土) 13:00～16:00
講師: 三浦伊織(当館職員)、当館学芸員
会場: 当館特別展示室、常設展示室、講堂　　参加者数: 14名（募集制）

出品目録

No.	作家名	作品名	制作	材質・形状	所蔵先
Ⅰ章　道南近代美術の父・北條玉洞とその系譜					
1	北條　玉洞	鶏朝顔図		紙本彩色	函館市蔵(当館受託)
2	野田　九浦	香妃出猟	1948(昭和23)	絹本彩色	当館蔵
3	笹野　順太郎	春宵	1934(昭和9)以前	絹本着色	市立函館博物館蔵
資1	平澤華洞の下絵(3枚)		1893(明治26)ほか		市立函館博物館蔵
資2	絵画展覧会賞状授与証(平澤華洞)		1894(明治27)		市立函館博物館蔵
4	田辺　三重松	駒ヶ岳山麓の村	1918(大正7)	水彩・紙	当館蔵
5	田辺　三重松	セメント工場(上磯)	1910-1920代前半	水彩・紙	当館蔵
6	田辺　三重松	室蘭		水彩・紙	当館蔵
7	田辺　三重松	立待岬	1919(大正7)	水彩・紙	当館蔵
8	天間　正五郎	風景7		木版・紙	当館蔵
資3	棒二森屋の紙袋　デザイン:本山正名				個人蔵
9	横山　松三郎	菊	明治初期	油彩・絹	函館市蔵(当館受託)
Ⅱ章　道南画壇の道のり　ー赤光社を中心に					
10	鈴木　巌	静かな朝		油彩・キャンヴァス	函館市蔵(当館受託)
11	高桑　千代雄	裸婦立像	1920(大正9)	油彩・キャンヴァス	函館市蔵(当館受託)
12	山本　行雄	モティブ・イン・ライト	1920(大正9)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
13	池谷　寅一	元町の春	1975(昭和50)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
14	近岡　外治郎	谷地頭風景	1930(昭和5)	油彩・キャンヴァス	函館市蔵(当館受託)
15	佐野　忠吉	ひまわり	1965(昭和40)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
資4	山本行夫第1回展目録	＊正しくは「山本行雄」	1921(大正10)		当館蔵
資5	高桑千代雄遺作洋画展覧会目録		1922(大正11)		当館蔵
資6	第2回アムボール展覧会目録		1925(大正14)		当館蔵
資7	同展会場(函館市公会堂)前にて＊写真		1925(大正14)		当館蔵
資8	第4回赤光社展目録		1923(大正13)		当館蔵
資9	第10回赤光社展目録		1930(昭和5)		当館蔵
資10	第14回赤光社展会場(森屋デパート)にて＊写真		1935(昭和10)		当館蔵
資11	田辺三重松「赤光社創立の頃」＊函館新聞1936年10月21日の記事				当館蔵
16	桐田　頼三	古き庭園	1931(昭和6)	油彩・キャンヴァス	函館市立弥生小学校
17	前田　政雄	北海道八景　中島公園	1931(昭和6)	木版・紙	当館蔵
18	前田　政雄	北海道八景　大沼公園	1930(昭和5)	木版・紙	当館蔵
19	前田　政雄	北海道八景　洞爺湖	1930(昭和5)	木版・紙	当館蔵
20	前田　政雄	北海道八景　五稜郭	1930(昭和5)	木版・紙	当館蔵
21	前田　政雄	蔵王火口壁	1957(昭和32)	木版・紙	当館蔵
22	前田　政雄	石庭C	1962(昭和37)	木版・紙	当館蔵
23	前田　政雄など	『版』 第2～5号、9号	1928(昭和3)ほか	木版・紙	当館蔵
24	田辺　三重松	ブライトホーン氷河	1965(昭和40)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
25	田辺　三重松	神威岬	1969(昭和44)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
26	岩船　修三	樹	1970(昭和45)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
27	岩船　修三	森の中の神々	1973(昭和48)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
28	橋本　三郎	ケダモノ	1958(昭和33)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
29	橋本　三郎	ユーカラB	1963(昭和38)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
30	北上　聖牛	静御前図	1912(大正元)	絹本彩色	当館蔵(松本健二郎氏受託)
31	山口　蓬春	松原図	1932(昭和7)	紙本彩色・屏風(二曲一双)	当館蔵
32	炭　光任	蛾と蝶	1965-74(昭和40代)頃	絹本彩色	当館蔵
33	植木　蒼悦	下界凝視	1971(昭和46)	紙本彩色	当館蔵
34	赤澤　白翠	月下松寿之図		紙本着色	市立函館博物館蔵
資12	平子聖龍『北海道アイヌ模様集』		1948(昭和23)		北海道立図書館蔵
トピック　道南美術と戦争　ー記録・記憶ー					
35	能戸　幸	宝塚風景	1929(昭和4)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
36	酒谷　小三郎	時計のある静物		油彩・キャンヴァス	当館蔵
37	橋本　三郎	はにわ	1943(昭和18)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
38	田辺　三重松	北千島野営	1943(昭和18)	水彩・紙	当館蔵
39	田辺　三重松	北方の港(北千島)	1943(昭和18)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
40	田辺　三重松	黄昏	1943(昭和18)	油彩・布、木	市立函館博物館蔵
資13	第16回赤光社展目録		1939(昭和14)		当館蔵
資14	同展会場(丸井今井百貨店)にて　＊写真		1939(昭和14)		当館蔵
資15	七飯、傷痍軍人北海道療養所寄贈絵画展覧会目録		1942(昭和17)		当館蔵
資16	同展会場(丸井今井百貨店)にて　＊写真		1942(昭和17)		七飯町歴史館蔵
資17	第19回赤光社展目録		1942(昭和17)		当館蔵

資18	稲毛戦車学校(千葉県)にて　＊写真		1943(昭和18)		七飯町歴史館蔵
資19	田辺三重松スケッチブック		1944(昭和19)頃		当館蔵
資20	《騎兵襲撃》と田辺　＊写真		1944(昭和19)		当館蔵
資21	岩船修三スクラップブック		1943(昭和18)		市立函館博物館蔵
資22	岩船スケッチブック「旅道づれ」		1942(昭和17)		市立函館博物館蔵
資23	特攻兵を描く岩船		1945(昭和20)		当館蔵
41	国松　登	眼のない魚(B)	1950(昭和25)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
42	鵜川　五郎	大正八年生まれの肖像	1978(昭和53)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
43	平方　亮三	街	1968(昭和43)	木版・紙	当館蔵
44	平方　亮三	MACHI	2000(平成12)	木版・紙	当館蔵
45	梁川　剛一	リンカーン原画(表紙)	1937(昭和12)	油彩・キャンヴァス	市立函館博物館蔵
46	梁川　剛一	リンカーン原画	1937(昭和12)	油彩・キャンヴァス	市立函館博物館蔵
資24	『子供が良くなる　講談社の繪本　リンカーン』		1937(昭和12)		市立函館博物館蔵
資25	『講談社の繪本　廣瀬中佐』		1939(昭和14)		市立函館博物館蔵
資26	『子供が良くなる 講談社の繪本 國史繪話』		1938(昭和13)		市立函館博物館蔵
資27	『子供が良くなる　講談社の繪本　支那事変大手柄繪話』		1938(昭和13)		市立函館博物館蔵
資28	『子供が良くなる 講談社の絵本 感激繪話動物美談』		1938(昭和13)		市立函館博物館蔵
資29	『講談社の繪本　動物園見物』		1941(昭和16)		市立函館博物館蔵
資30	梁川剛一の戦時下制作絵ハガキ(4点)				個人蔵
資31	『コドモエバナシ　第5巻14号』		1942(昭和17)		市立函館博物館蔵
資32	『家の光　第14巻2号　2月号』		1939(昭和14)		市立函館博物館蔵
資33	『家の光　第15巻7号　7月号　農繁期特輯号』		1939(昭和14)		市立函館博物館蔵
資34	『出世美談宝玉集　少年倶楽部新年号附録』		1936(昭和11)		市立函館博物館蔵
資35	『忠孝の鑑　山本元帥伝　少国民版』		1944(昭和19)		市立函館博物館蔵
資36	『家の光　第31巻第11号　付録　こども家の光　10月号』		1955(昭和30)		市立函館博物館蔵
資37	『家の光　第37巻第1号　別冊付録　こども家の光　1』		1961(昭和36)		市立函館博物館蔵
Ⅳ章	戦後道南美術の展開　ーそして現代へ				
61	早瀬　龍江	日常茶飯事	1955(昭和30)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
62	深井　克美	タキオン	1974(昭和49)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
63	小松原　勝市	湊(あかときみなと)	1966(昭和41)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
64	長谷川　潾二郎	［ハリストス正教会］	1923(大正12)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
65	長谷川　潾二郎	［兎］	1930(昭和5)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
66	長谷川　潾二郎	巴里の家(広告塔)	1931(昭和6)	油彩・板	当館蔵
67	長谷川　潾二郎	モンルージュ付近のヂプシー馬車	1932(昭和7)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
68	長谷川　潾二郎	甘蔗と大蒜	1984(昭和59)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
69	長谷川　潾二郎	アイスクリーム	1981(昭和56)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
70	長谷川　潾二郎	ペルシャ陶器と貝殻	1977(昭和52)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
71	長谷川　潾二郎	静物	1987(昭和62)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
72	長谷川　潾二郎	お菓子	1986(昭和61)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
資41	長谷川　潾二郎「猫のデッサン」				当館蔵
資42	長谷川　潾二郎「タローの履歴書」				当館蔵
73	小寺　真知子	ヘルモアフロディーテ	1996(平成8)	黒大理石	当館蔵
74	秋山　沙走武	薫風	1987(昭和62)	乾湿	当館蔵
75	折原　久左エ門	連作　ー祀跡ー	1984(昭和59)	白銅・鋳造	個人蔵
76	砂田　友治	北海の男たち(3)		油彩・キャンヴァス	個人蔵
77	鎌田　俳捺子	作品	1966(昭和41)	油彩、石膏、漁網コラージュ、麻布	当館蔵
78	平川　勇	樹　K-No. 8	1957(昭和32)	油彩・ボード	当館蔵
79	長谷川　晶	作品3	1964(昭和39)	油彩・板	当館蔵
80	蛯子　善悦	カンヌタ映え	1991(平成3)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
81	箱根　寿保	巴里日記	1980(昭和55)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
資43	第14回行動展目録		1960(昭和35)		当館蔵
資44	第15回行動展目録		1961(昭和36)		当館蔵
資45	第17回行動展目録		1962(昭和37)		当館蔵
資46	第11回赤光社アンデパンダン展目録		1976(昭和51)		当館蔵
資47	第12回赤光社アンデパンダン展目録		1977(昭和52)		当館蔵
資48	道南美術協会創立40周年記念誌　道南美術		1997(平成9)		当館蔵
資49	第30回北斗会出品目録		2001(平成13)		当館蔵
資50	第12回函館版画協会展案内ハガキ		1989(平成元)		当館蔵
資51	『函館百点　1964年8月号 No. 24』表紙デザイン：蛯子善悦		1964(昭和39)		当館蔵
資52	『月刊はこだて　1964年9月号 No. 25』表紙デザイン：蛯子善悦		1964(昭和39)		当館蔵

資53	『月刊はこだて　1964年10月号 No. 26』表紙デザイン：蛯子善悦		1964(昭和39)		当館蔵
資54	『月刊はこだて　1964年11月号 No. 27』表紙デザイン：蛯子善悦		1964(昭和39)		当館蔵
資55	『タウン誌　街　1996年 新年号 No.401』表紙デザイン：平方亮三		1996(平成8)		当館蔵
資56	『タウン誌　街　2001年10月号 No.470』表紙デザイン：平方亮三		2001(平成13)		当館蔵
資57	『タウン誌　街　2001年11月号 No.471』表紙デザイン：平方亮三		2001(平成13)		当館蔵
資58	『タウン誌　街　2001年12月号 No.472』表紙デザイン：平方亮三		2001(平成13)		当館蔵
資59	『タウン誌　街　2002年1月号 No.473』表紙デザイン：平方亮三		2002(平成14)		当館蔵
資60	『タウン誌　街　2002年2月号 No.474』表紙デザイン：平方亮三		2002(平成14)		当館蔵
資61	タウン誌「街」編集室編『わが街　はこだてタウン誌50年』		2013(平成25)		当館蔵
82	木村　捷司	マラケッシュの水売り	1982(昭和57)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
83	木村　訓丈	あえかなる記憶(HIROSHIMA)	1982(昭和57)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
84	瀬戸　英樹	牛乳台のある風景	1983(昭和58)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
85	輪島　進一	空の記憶・水の記憶	1997(平成9)	油彩・キャンヴァス	当館蔵
86	三箇　三郎	ワイングラスの夕陽	2007(平成19)	油彩・キャンヴァス	当館蔵